INAX

システムキッチン

ベーシック・ネオ

施工説明書

このたびは当社商品をご採用いただき誠にありがとうございました。
施工前にこの説明書をよくお読みのうえ正しく施工してください。
この説明書は、同梱の「取扱説明書」とともに施工完了後、お客さまにお渡しください。

この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な施工により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

もくじ

●安全上のご注意<必ずお守りください> ・・・・・・・・1
●施工フロー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
●施工前の確認 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
1. 部材の確認 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
2. 施工現場の確認 ・・・・・・・・・・・・・・・・・5
3. 取付工事に必要な工具 ・・・・・・・・・・・・・・6
●施工方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
1. 墨出し ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
2. 同梱部品の確認 ・・・・・・・・・・・・・・・・・8
3. ウォールキャビネットの取付け ・・・・・・・・・10
4. レンジフードの取付け ・・・・・・・・・・・・・14
5. フロアキャビネットの取付け ・・・・・・・・・・14
6. カウンターの取付け ・・・・・・・・・・・・・・16
7. L形人造大理石カウンターの接続部の仕上げ ・・17
8. 水栓金具・排水器具の取付け ・・・・・・・・・18
9. 機器類の取付け ・・・・・・・・・・・・・・・・19
10. 防熱板の取付け（人造大理石カウンターのみ） ・・19
11. 配管・配線の接続 ・・・・・・・・・・・・・・19
12. 扉取っ手の取付け ・・・・・・・・・・・・・・19
13. 棚板の取付け ・・・・・・・・・・・・・・・・19
●施工後の調節 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
1. 扉の調節 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
2. 点検・清掃 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・21
3. 養生 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22

[オプション部材の取付け]
1. 食器戸棚ユニット（壁付タイプ）の取付け ・・・23
2. 食器戸棚ユニット（両面タイプ）の取付け ・・・25
3. サービスカウンター（壁付タイプ）の取付け ・・26
4. サービスカウンター（両面タイプ）の取付け ・・28
5. 両面ハッチウォールキャビネットの取付け ・・・29
6. ウォールキャビネット用
間口調整フィラーの取付け ・・・・・・・・・・31
7. フロアキャビネット用
間口調整フィラーの取付け ・・・・・・・・・・34
8. 食器戸棚ユニット用小口フィラーの取付け ・・・37
9. 冷蔵庫用上部ウォールキャビネットの取付け ・・38
10. エンドパネル（サイドパネル）の取付け ・・・・39
11. 支輪の取付け ・・・・・・・・・・・・・・・・43

工事店様用

安全上のご注意〈必ずお守りください〉

■ここでは、施工作業者の方が、安全にシステムキッチンの取付作業を行って頂けるように、取付作業中の事故を回避するための注意事項と、取付後ご使用になる方が、システムキッチンを安全にご使用頂けるように、使用中の事故を回避するための施工上の注意事項をあげています。

この安全上の注意事項をよくお読みの上、正しく施工を行ってください。

●施工完了後、施工後の確認事項にしたがって各部の点検を行い、異常の無いことを確かめてください。

●本体に同梱されている取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。
紛失や汚れが生じないように大切に保管し、施工完了後、お引き渡し時にお客様にお渡しください。

■警告表示の見方

●表示内容を無視して誤った施工をした時生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の覧は「使用者または施工者が死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の覧は「使用者または施工者が傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は絵表示の一例です。）

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

水道、ガス、電気工事は、関連する法令・規定に従って必ず「有資格者」が行ってください。

※誤った接続や固定方法で行うと漏水・発煙・火災・感電の原因となります。

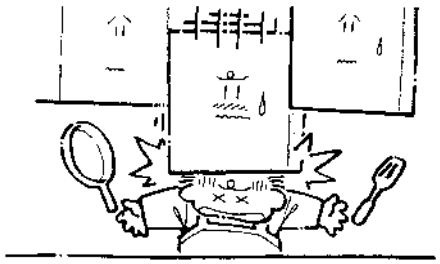
人造大理石カウンターの接続に使用する接着剤は、接着剤に付属の施工説明書（注意表示）に従って正しく使用し、後処理してください。

※誤った使い方・後処理をすると人体に影響が出たり、発火の原因になります。

⚠ 注意

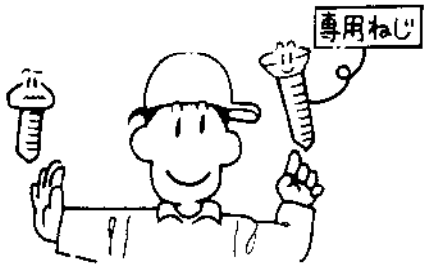
ウォールキャビネットを取り付ける取付木（厚み30mm以上、幅90mm以上）が指定通りに使用されていることを確認してから取り付けてください。

※ 取付木に十分なねじ保持力がないと、使用中にウォールキャビネットが落下し、ケガをする恐れがあります。



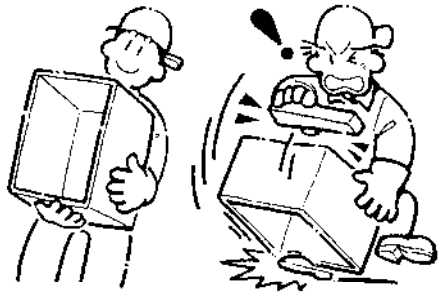
ウォールキャビネットは必ず商品に同梱している専用のねじで取り付けてください。

※ 適切なねじを使用せずに取り付けると、ねじの緩みが原因で使用中にウォールキャビネットが落下し、ケガをする恐れがあります。



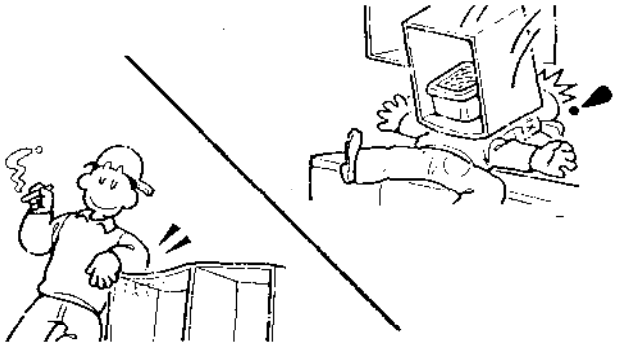
キャビネットの運搬時には、キャビネットの背と底の部分に手を掛け運搬してください。

※ キャビネットの桟木・幕板を持って運搬すると、破損してケガをする恐れがあります。



取付途中のキャビネットの上に乗ったり、もたれ掛かったり重量物を載せたりしないでください。

※ キャビネットが破損または落下してケガをする恐れがあります。

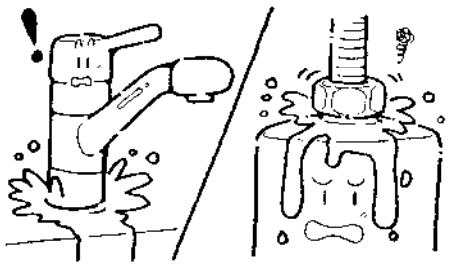


人造大理石カウンターのL形コーナー接続部の鋭角部分・ステンレスカウンターの端部などでケガをしないよう注意してください。

※ 力強く触れると手を切る恐れがあります。

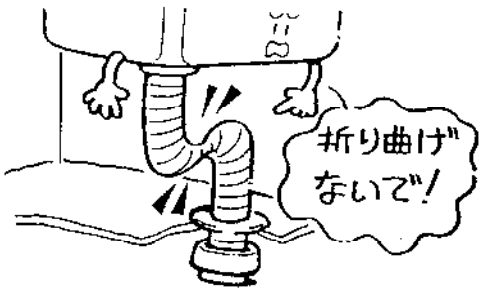
水栓金具・排水部品（大形ゴミ収納器・他）の取付部・接続部のナットは十分に締付けを行ってください。

※ ナットの締付けが不十分な場合、使用中に取付部から漏水する恐れがあります。

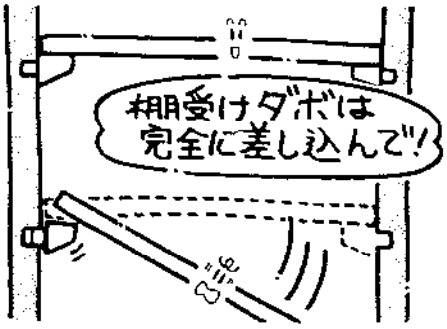


⚠ 注意

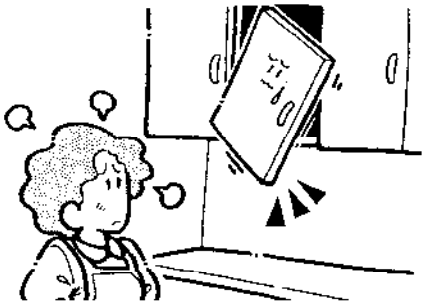
排水ホース・パイプはねじれ・折り曲げがないように建築側排水管との接続を確実に行ってください。
※ 使用中の漏水の原因となります。



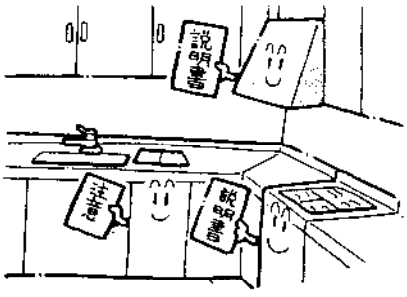
棚受けダボは側板に完全に差し込み、棚板をセットし確実に棚板が固定されていることを確認してください。
※ 棚板が落下してケガをする恐れがあります。



施工完了後は、扉の傾き、ガタつき、蝶番のゆるみがないことを確認してください。
また、確認、調節後は全ての扉の指定のねじを固く締め付けてください。
※ 締付が不十分な場合、使用中に扉が落下しケガをする恐れがあります。



ビルトイン機器（換気用機器・加熱調理機・その他の機器）については、それぞれに付属の説明書・注意表示をご覧いただき、正しく施工を行ってください。
※ 誤った施工を行うと思わぬ事故や、故障の原因となる恐れがあります。



施工フロー

P.5 部材の確認

P.5 施工現場の確認

P.7 墨出し
- ①基本墨出し
- ②取付用墨出し

P.8 同梱部品の確認

P.10 ウォールキャビネットの取付け

※L形の場合は、コーナーウォールキャビネットより取り付けます。

①壁固定用の下穴加工（φ6）→ ②照明スペース付ウォールキャビネットの取付け (P.12)

③連結用の下穴加工（φ3）→ 支輪取付桟の取付け (P.43)

P.14 隣接するウォールキャビネットとの連結 → 間口調整フィラーの取付け (P.31)

P.14 レンジフードの取付け

※商品付属の工事説明書に基づき、取り付けます。

P.14 フロアキャビネットの取付け

P.15 基準となるフロアキャビネットの取付け

※I形の場合は壁側のキャビネットより取り付け、
L形の場合はコーナーフロアキャビネットより取り付けます。
- ①連結用の下穴加工（φ3）

P.15 隣接するフロアキャビネットとの連結
- ①ビルトイン機器がある場合は、設置する機器間口寸法分を確保します。
- ②コンロ機器の場合、コンロ用フロアキャビネットへ、ガス管取出し穴加工（φ30）

→ 間口調整フィラーの取付け (P.34)

P.16 カウンターの取付け → L形人造大理石カウンターの接続部の仕上げ (P.17)

※商品付属の施工説明書に基づき、接続します。

P.17 カウンターとフロアキャビネットの固定

P.18 水栓金具の取付け

※商品付属の施工説明書に基づき、専用締付工具（KG-23）で取り付けます。

P.18 排水器具の取付け

※専用締付工具（HG-1A）で取り付けます。

P.19 機器類の取付け

※商品付属の施工説明書（設置工事説明書）に基づき取り付けます。
- ①ガスコンロ
- ②ビルトインレンジ（オーブン）
- ③食器洗い乾燥機

P.19 防熱板の取付け（人造大理石カウンターのみ）

P.19 配管・配線の接続

P.19 扉取っ手の取付け

※Qシリーズ（鏡面扉）の場合、扉表面及び上下木口面の「すりキズ防止用」
透明養生シートをはがします。

P.19 棚板の取付け → オプション部材の取付け (P.23)
- ●周辺ユニット（食器戸棚、サービスカウンター）
- ●両面ハッチウォールキャビネット
- ●フィラー（間口調整用・食器戸棚用）
- ●冷蔵庫用上部ウォールキャビネット
- ●エンドパネル
- ●支輪

P.20 扉調節

P.21 点検・清掃

P.22 養生

施工前の確認

1. 部材の確認

荷受けした商品について部材品番明細表（セット品番で注文されている場合、シンクベースキャビネット梱包材に張り付けてあります）を基に、品番・数量をチェックしてください。
※システムキッチンは部材点数が多く間違え易いので、入念に行ってください。

2. 施工現場の確認

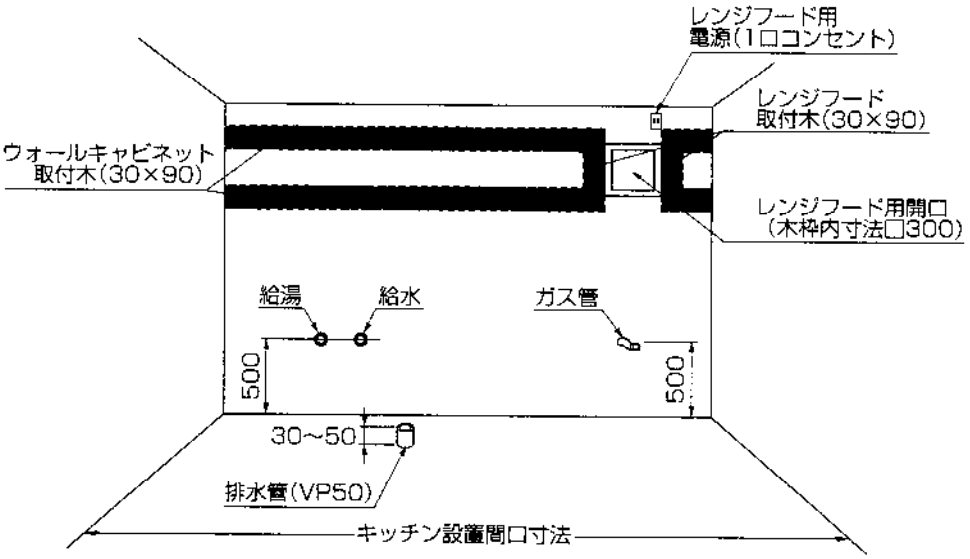
施工（設備）図面通りに、一次工事ができているか、以下の項目について、チェックしてください。

＜チェック項目＞
（1）設置場所の間口寸法、床の水平、壁の垂直、コーナー部の直角度
（2）窓枠や建具の位置と寸法
（3）ウォールキャビネット取付木の位置及び寸法（厚さ30mm以上、幅90mm以上）

⚠ 注意

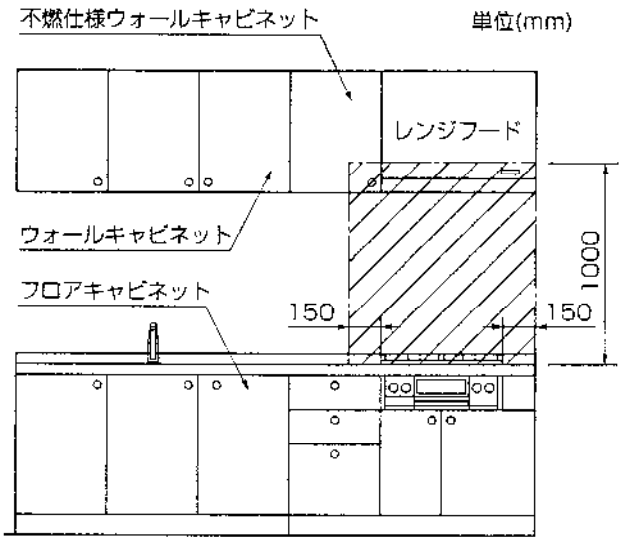
ウォールキャビネットを取り付ける取付木（厚さ30mm以上、幅90mm以上）が指定通りに使用されていることを確認してから取り付けてください。
※取付木に十分なねじ保持力がないと、使用中にウォールキャビネットが落下し、ケガをする恐れがあります。

（4）必要な給排水・ガス管・電源などの位置と接続方法
（5）レンジフード用開口の位置及び寸法
（6）レンジフード取付木の位置及び寸法（厚さ30mm以上、幅90mm以上）



図は、I形キッチン（シンク左配置）の壁給水・床排水・レンジフード（換気扇タイプ）・ガスコンロの場合。

(7) 火災予防条例（東京都）では、右図の斜線の範囲内およびレンジフードとの間が10cm未満には、可燃物があってはならないと規定されています。
斜線の範囲内に設置されるウォールキャビネットや、レンジフードに隣接するウォールキャビネットについては不燃仕様のものを使用してください。
これ以上に規制されている地域もありますので、地域の条例に従ってください。



3. 取付工事に必要な工具

	工　具　名	主　要　途
1	スケール（メジャー）	
2	下げ振り	垂直墨出し用
3	水盛りホース	水平墨出し用
4	墨つぼ	基準墨だし、取付用墨出し用
5	水準器	
6	脚立	
7	電動ドライバー（+）	
8	小型ドライバー（+）	150mm幅キャビネットの扉（蝶番）調節用
9	ドリル刃（φ3）	キャビネット連結ねじ下穴用
10	ドリル刃（φ6）	キャビネット壁固定ねじ下穴用
11	ドリル刃（φ10）	照明スペース付ウォールの照明用電気配線取出し下穴用
12	ドリル刃（φ11～12）	両面ハッチウォール吊りボルト下穴用
13	ホルソー（φ30）	ガス管取出し穴用
14	かなづち	支輪取付け用
15	のみ	照明スペース付ウォールの照明電気配線取出し溝用
16	のこぎり	支輪切断、間口調整フィラー切断用
17	かんな	支輪の小口仕上げ用
18	スパナ（モンキー）17mm	両面ハッチウォール吊りボルト固定六角ナット(MIO)用
19	専用工具（HG-1A）	大形ゴミ収納器の取付け用
20	専用工具（KG-23）	水栓金具（KSF-4420S/SN-B）の取付け用
21	シンナーまたはアセトン	人造大理石、L形カウンター接続部仕上げ用
22	ウェス	人造大理石、L形カウンター接続部仕上げ用
23	スクレイパー	人造大理石、L形カウンター接続部仕上げ用
24	当て木	人造大理石、L形カウンター接続部仕上げ用

施工方法

1．墨出し

(1) 基準墨出し

①3:4:5の直角三角形の原理（または、差金）を利用して直角を出し、床に仮墨を打ちます。

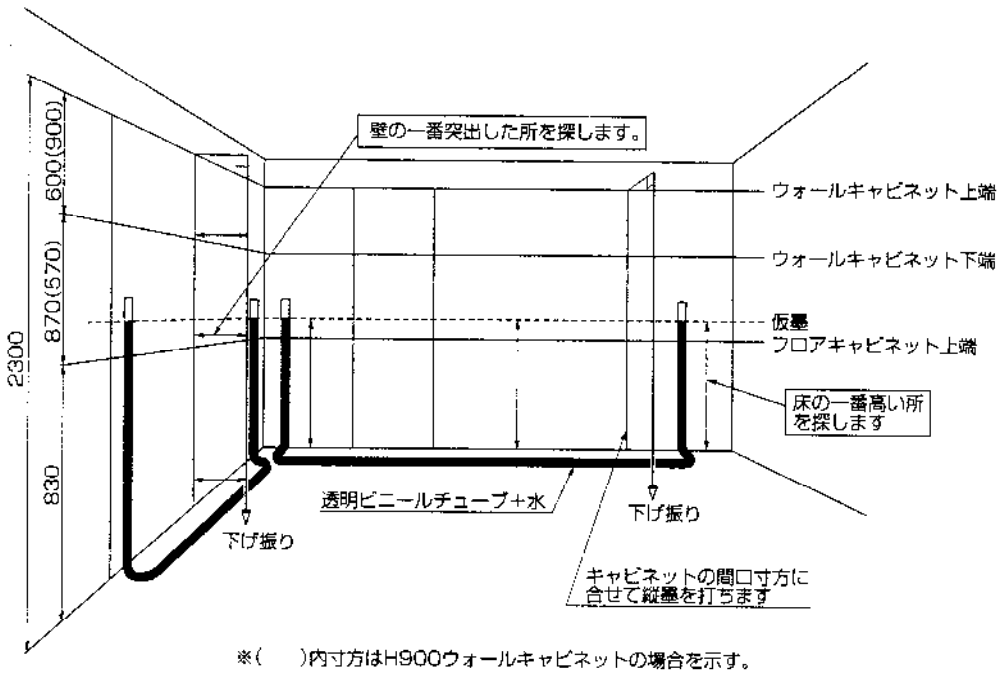
②1m程度の間隔で下げ振りを下ろし、下げ振りから壁までの寸法を測定し、最も突出した部分を探し出します。

※墨出しの基準は、壁に隣接するキャビネットの両端を基準にしてください。

(2) 取付用墨出し

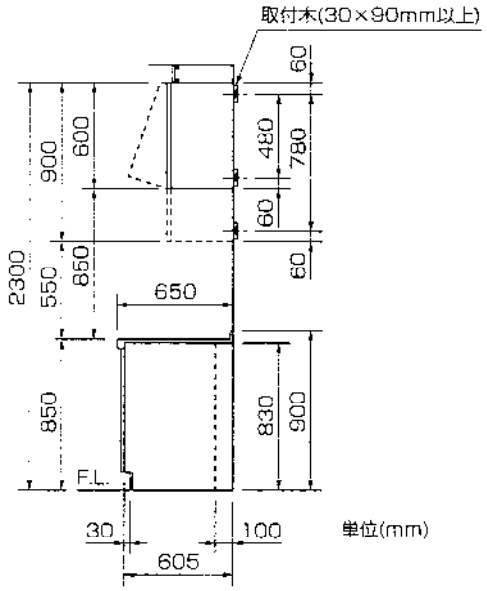
①仕上がり床面を基準に、フロアキャビネットの上端、ウォールキャビネットの下端（または上端）の位置に墨出しします。
また、設置する個々のキャビネット外形に合わせて墨出ししておくと施工がしやすくなります。
※床の仕上げは、システムキッチンを取り付ける前に完了していることが原則です。
※キッチン取付けの後、床を仕上げる場合は、仕上材の厚みを考慮して取付位置を決めないと、ビルトイン機器のメンテナンスができなくなります。

②墨出し終了後、排気口・窓枠など高い精度が要求される寸法を再度チェックします。



※(　　)内寸法はH900ウォールキャビネットの場合を示す。

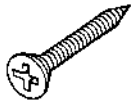
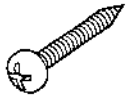
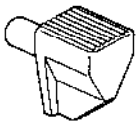
標準取付高さ（ウォールキャビネット上端H2300）の場合



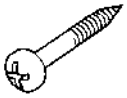
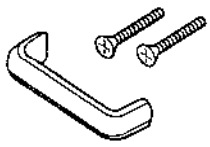
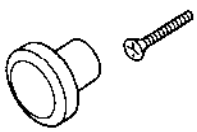
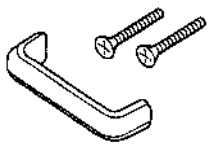
※照明スペース付ウォールキャビネット（H600）の場合、一般ウォールキャビネット（H600）に同じ。

2. 同梱部品の確認

シンク用フロアキャビネット及びその他のキャビネット部に次の部品が同梱されています。
取り付けを開始する前に必ず確認してください。

<table>
<tr><td>カウンター固定ねじ
（床＋パネル固定ねじ）</td><td colspan="2">キャビネット連結ねじ</td><td>キャビネット壁固定ねじ</td></tr>
<tr><td>
数量：7本／フロアキャビネット　1台
品番：NKB001
寸法：AトラスTPSUS4×12</td><td colspan="2"> 
数量：5本／キャビネット　1台
品番：NKB002／WR
寸法：コースレッドスクリュー3.8×25
（頭白色塗装）</td><td> 
数量：6本／ウォールキャビネット　1台
食器戸棚ミドル上部用
品番：NKB003／WR
寸法：AトラスTP　5×50（頭白色塗装）</td></tr>
<tr><td>棚受けダボ</td><td colspan="3">扉取手</td></tr>
<tr><td rowspan="3"> 
数量：4ケ／棚板　1枚
品番：NKP3005

間口調整フィラー取付桟取付ねじ

 
品番：NKB004
寸法：丸木ねじ3.5×30</td><td>Qシリーズ</td><td>Kシリーズ</td><td>Tシリーズ</td></tr>
<tr><td> 
品番：NKP0011/WS</td><td> 
品番：
NKP0012/WB・・・扉色KY用
NKP0012/LB・・・扉色KP用
NKP0012/DB・・・扉色KS用</td><td> 
品番：NKP0011/WG</td></tr>
</table>

※各同梱部品の品番は、単品品番（数量=1）を示します。
※扉取っ手の同梱数量は各キャビネットの扉数量に同じです。

〔同梱部品仕様・数量明細〕

タイプ	キャビネットの種類	取扱説明書	施工説明書	排水プレート	ねじ						その他部材
					カウンター固定ねじ	床+パネル固定ねじ	キャビネット連結ねじ	間口調整フィラー用扉面材取付ねじ	キャビネット壁固定ねじ	間口調整フィラー取付桟取付ねじ	
					AトラスTPSUS 4×12		コースレッドスクリュー 3.8×25（頭白色塗装）		AトラスTP5×50（頭白色塗装）	丸木ねじ 3.5×30	
フロア	シンクキャビネット	1	1	1	各7本		各5本				
	コーナーキャビネット										位置出しコマ 100×100×t15×4枚
	シンクキャビネット以外										
ウォール	不燃仕様キャビネット（H600/H900）						各5本		各6本		
	一般キャビネット（H600/H900）										
	コーナー用キャビネット（H600／H900）										
	照明スペース付キャビネット（H600）										
	ガラス扉仕様/壁付キャビネット（H900）										
	ガラス扉仕様/両面キャビネット（H600）										
	冷蔵庫上部用キャビネット										
周辺ユニット	食器戸棚ユニット（壁付／両面） フロアキャビネット				各7本		各5本				
	食器戸棚ユニット（壁付／両面） ミドル上部キャビネット						各5本		各6本		
	サービスカウンター（壁付／両面） フロアキャビネット				各7本		各5本				
フィラー	フロア用間口調整フィラー										取付桟 20×20×L715×2本
	ウォール用間口調整フィラー（H600/H900）						各6本			各18本	取付桟 H600:20×20×L585×2本 H900:20×20×L885×2本
	食器戸棚用小口フィラー										
エンドパネル（サイドパネル）	フロアキャビネット用										
	ウォールキャビネット用/壁付（H600/H900）										
	ウォールキャビネット用/両面（H900）										
	食器戸棚ユニット用（壁付/両面兼用）										
	サービスカウンター用（壁付/両面）										
	冷蔵庫用				8						床固定L形金具×2個
支輪	支輪（H300）										取付桟 20×20×L600×6本

3. ウォールキャビネットの取付け

⚠ 注意

ウォールキャビネットを取り付ける取付木（厚さ30mm以上、幅90mm以上）が指定通りに使用されていることを確認してから取り付けてください。
※取付木に十分なねじ保持力がないと、使用中にウォールキャビネットが落下し、ケガをする恐れがあります。

取付け途中のウォールキャビネット内・外に工具などの重量物を載せたり、もたれ掛かって力を加えたりしないでください。
※取付け中のキャビネットが落下、または破損してケガをする恐れがあります。

ウォールキャビネットは必ず商品に同梱している専用のねじで取り付けてください。
※適切なねじを使用せずに取り付けると、使用中にウォールキャビネットが落下し、ケガをする恐れがあります。

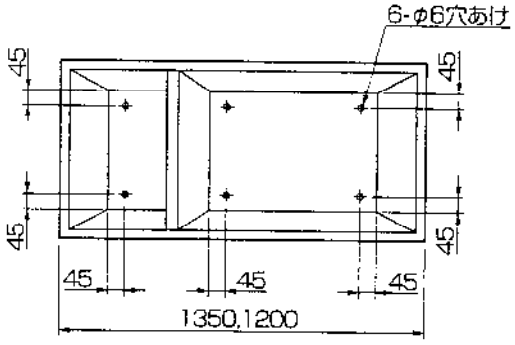
キャビネットの運搬時には、キャビネットの背と底の部分に手を掛け運搬してください。
※キャビネットの桟木・幕板を持って運搬すると、破損してケガをする恐れがあります。

棚受けダボは側板に完全に差し込み、棚板をセットして確実に棚板が固定されているか確認してください。
※棚板が落下してケガをする恐れがあります。

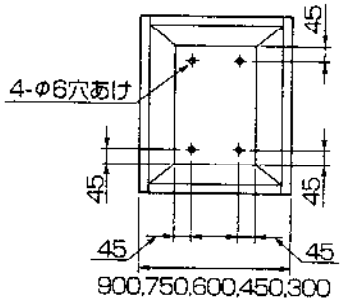
（1）壁固定用の下穴加工

ウォールキャビネットの背板に壁固定用の下穴（φ6）をあけます。

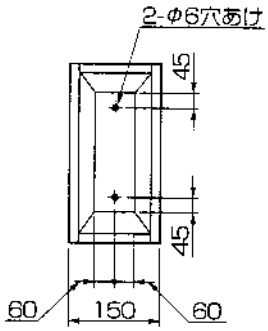
①3枚扉付ウォール



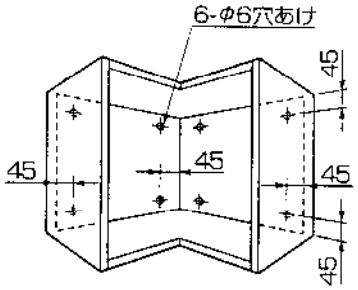
②1枚および2枚扉付ウォール
※W150mmウォールを除く



③1枚扉付ウォール（W150mmの場合）

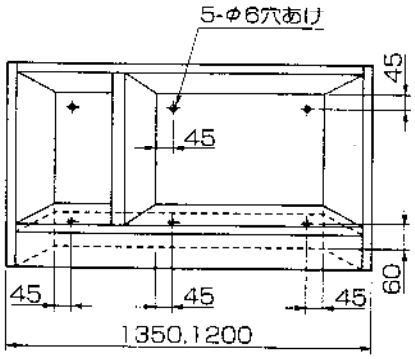


④コーナー用ウォール

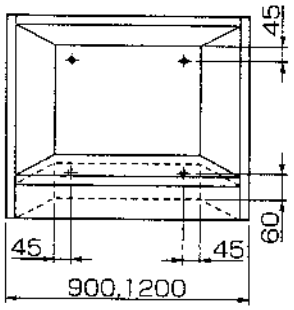


※壁面固定用ねじは、2辺の背板へ6本のねじ（1辺に4本、もう1辺に2本）で取り付けます。

⑤3枚扉照明スペース付ウォール

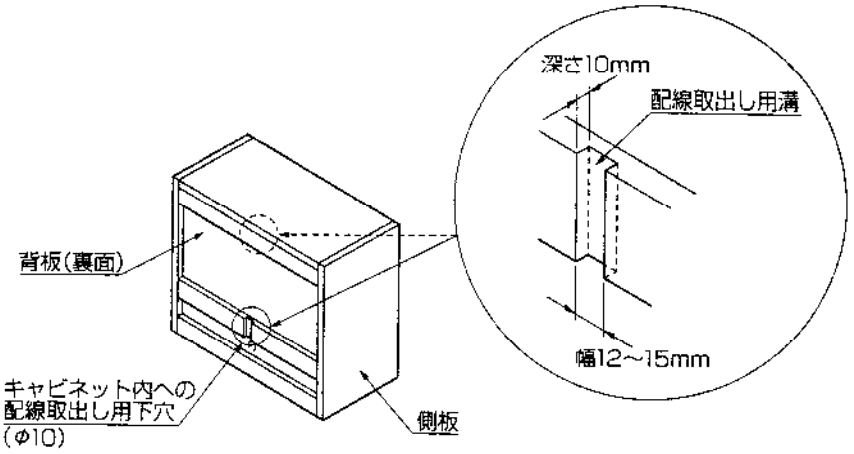


⑥2枚扉照明スペース付ウォール



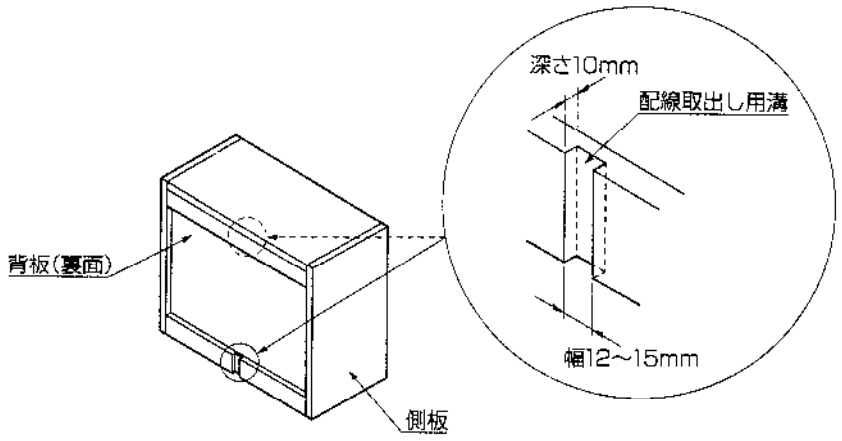
(2) 照明スペース付ウォールキャビネットの取付け（照明用電気配線取出し溝の加工）

① 照明スペース付ウォールキャビネット背板裏面の配線処理は、下図を参照し加工を行います。



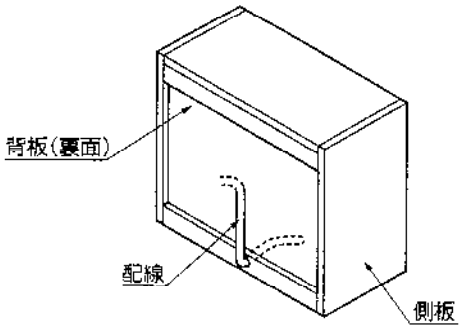
※配線取出し用の溝が、背板上部でも必要な場合は、加工してください。

② 照明スペース付以外のキャビネット背板裏面の配線処理は、下図を参照し加工を行います。

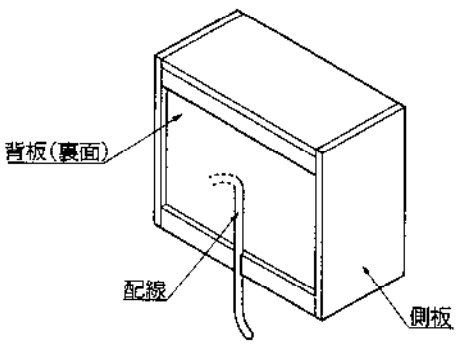


※配線取出し用の溝が、背板上部でも必要な場合は、加工してください。

③ 照明用配線の取出し方は、①、②で加工した溝を使用し下図のように、キャビネット内もしくは、キャビネット下へ取出します。



〔照明スペース付ウォールの場合〕



〔照明スペース付ウォール以外の場合〕

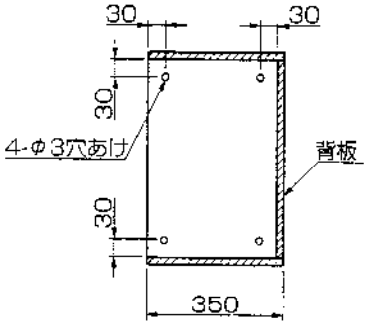
(3) キャビネットの取付け

① 下図を参照し、連結ねじを通す側のキャビネット側板に連結用の下穴（φ3）をあけます。

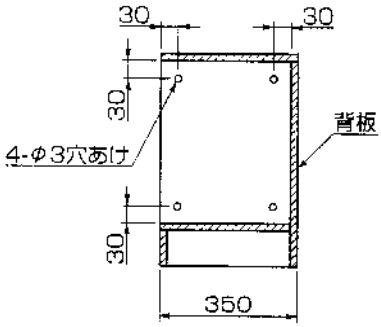
※キャビネットを設置する位置および上下の向きを確認の上、あけ間違えのないよう注意してください。

※連結用下穴は、必ずキャビネット内部より穴あけしてください。

〔連結用下穴位置〕



〔照明スペース付以外の場合〕



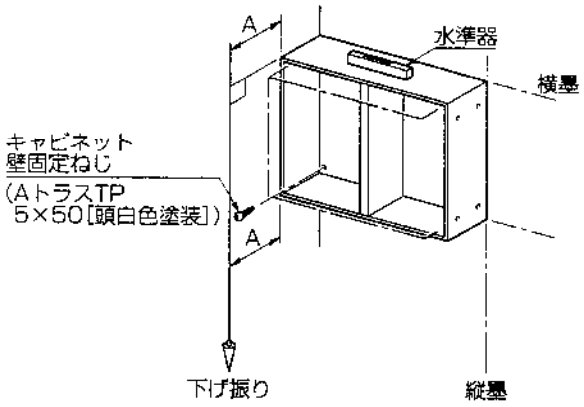
〔照明スペース付の場合〕

② 支輪を取り付ける場合はウォールキャビネットを取り付ける前に、必要部材の取り付けを行います。

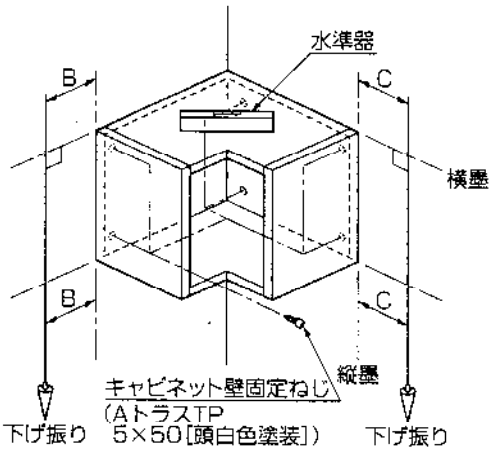
※支輪施工用部材の取付けはP.43を参照してください。

③ 基準となるキャビネットを決め、水準器・下げ振り等を利用してキャビネット壁・固定ねじで壁面へ取り付けます。

※Ｉ形キッチンの場合は、壁側のキャビネット、L形キッチンの場合は、コーナーキャビネットより設置してください。

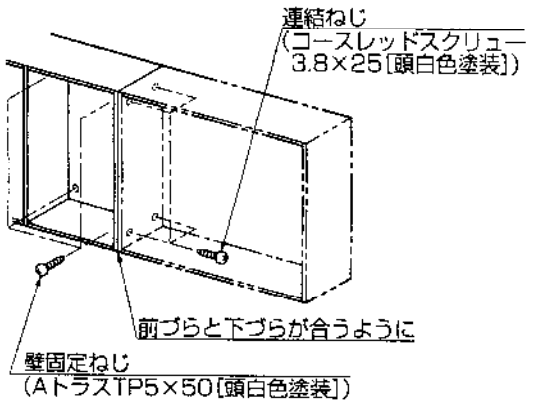


〔Ｉ形の場合〕



〔L形の場合〕

④キャビネット本体前面、下面が合うように、
次のキャビネットを連結ねじで連結します。



⑤レベルを調節しながらウォールキャビネットをキャビネット壁固定ねじで壁面に仮取付けします。

⑥以下、④、⑤を繰り返して取り付けます。
※壁面が垂直でない場合、壁面とキャビネットとの間にスペーサーなどで調節しながら、ウォールキャビネットの前面、下面が一直線になるよう壁固定ねじを締め付けます。

⑦間口調整フィラー（BFP015WA/WB）の取付けを行う場合はP.31を参照してください。

4. レンジフードの取付け

⚠ 注意

レンジフードを取り付ける取付木（厚さ30mm以上、幅90mm以上）が指定通りに使用されていることを確認してから取り付けてください。
※取付木に十分なねじ保持力がないと、使用中にレンジフードが落下し、ケガをする恐れがあります。

レンジフードに付属の工事説明書に基づいて取り付けます。

5. フロアキャビネットの取付け

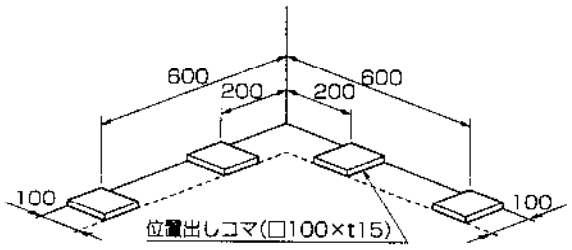
⚠ 注意

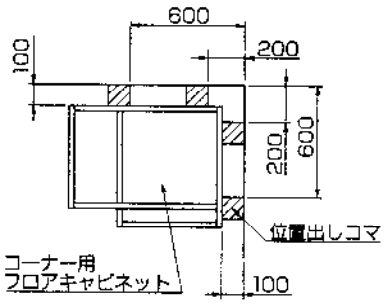
取付途中のベースキャビネットの上に乗ったり、もたれ掛かったり重量物を載せたりしないでください。
※キャビネットが破損してケガをする恐れがあります。

※ビルトイン機器の設置がある場合は、機器間口寸法を確保してください。

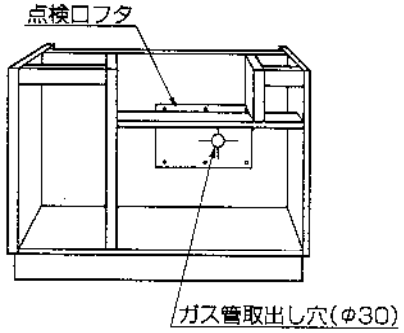
(1) 図面（キャビネット配置図）に基づき、フロアキャビネットを仮設置し、連結する側板位置を決めます。

(2) L形キッチンでコーナー用フロアキャビネットを仮設置する場合、同梱の位置出しコマ（4個）を、先に、建築躯体コーナー部床面へ、下図を参照し設置します。
その後、設置した位置出しコマに、コーナー用フロアキャビネットの背板下部2辺が当たるようにします。

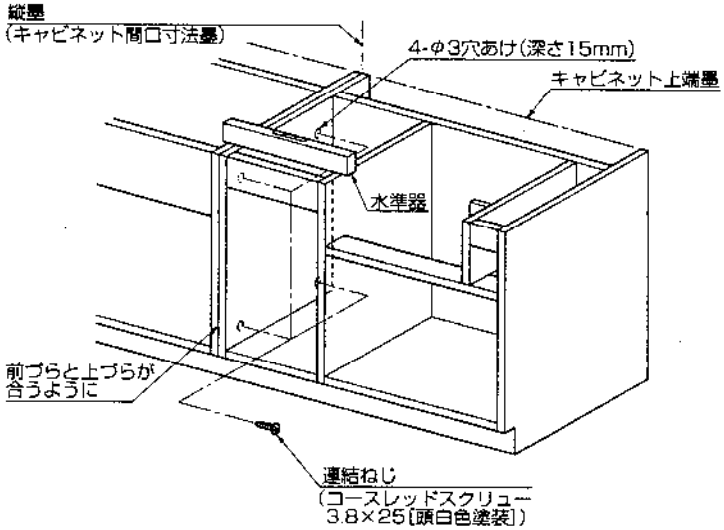




(3) コンロ用フロアキャビネットの背板へ、ホルソーなどを利用して、ガス機器用のガス管取出し穴（φ30）をあけます。
※建築躯体側のガス管仕上り位置を実測し、取出し穴位置のあけ間違いのないよう注意してください。
※シンク用フロアキャビネット背板への給水・給湯管取出し用の下穴は不要です（背板後方での配管接続となります）。



(4) フロアキャビネットの上端の墨（H830）を基準に、水準器等で水平レベルを確認しながら全てのフロアキャビネットをキャビネット連結ねじで連結します。
※レベルの調節は、木片、くさび等（現場調達）を利用してください。
※フロアキャビネット側板内面に、連結案内用（半貫通）の下穴がありますので、その下穴を利用して、連結ねじ用下穴（φ3）をあけてください。**その際、反対側まで、下穴を貫通させないよう注意してください。**
※I形キッチンの場合は、壁側のキャビネット、L形キッチンの場合は、コーナー用キャビネットより設置してください。



(5) 間口調整フィラー（BFP015B）の取付けを行う場合は、P.34を参照してください。

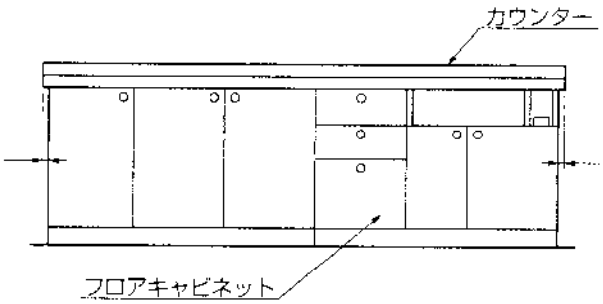
6. カウンターの取付け

⚠ 注意

人造大理石カウンターのL形コーナー接続部の鋭角部分、ステンレスカウンターの端部などでケガをしないよう注意してください。
※力強く触れると、手を切る恐れがあります。

(1) カウンターの仮取付け

〔I形人造大理石・ステンレスカウンターの場合〕
カウンターをフロアキャビネットの上に仮設置し、カウンターと、フロアキャビネット両側面の収まりが左右均等になるよう振り分けて合わせます。

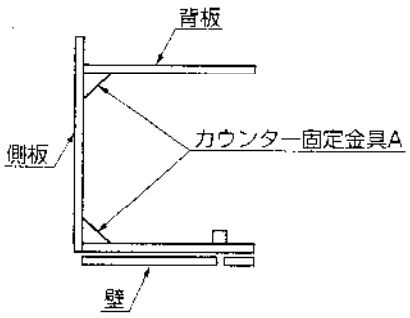


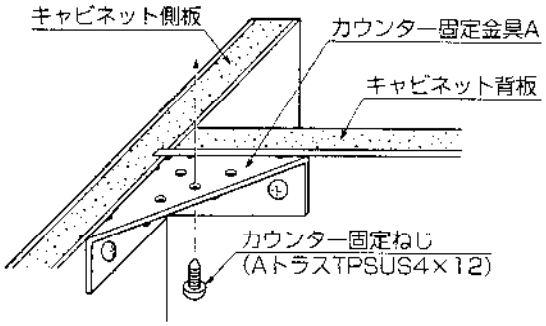
〔L形一体ステンレスカウンターの場合〕
建築躯体コーナー部を基準にカウンターをフロアキャビネットの上に仮設置しカウンターとフロアキャビネット両側面の収まりが左右均等になるよう振り分けて合わせます。

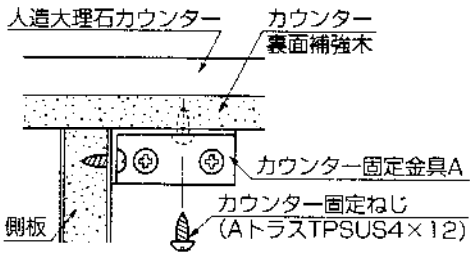
〔L形人造大理石カウンターの場合〕
シンク・ガス機器側のカウンターをフロアキャビネットの上に仮設置し、カウンターとフロアキャビネット両側面の収まりが左右均等になるよう振り分けて合わせます。
(同カウンターの接続は、連結金具を使用しません)。

(2) カウンターの取付け

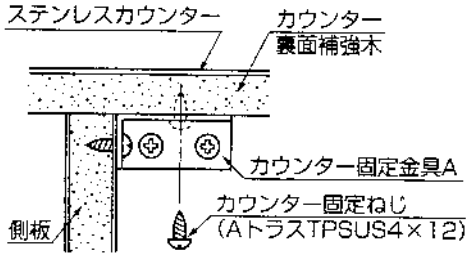
①キャビネットに仮設置したカウンター（裏面補強木）へカウンター固定ねじを使用しキャビネット内より固定します。
※フロアキャビネットの内側4隅に付いているカウンター固定金具A（1ヶに付き）を通し、カウンター固定ねじ1本で固定してください。
※L形人造大理石カウンターのガス側は、「7. L形人造大理石カウンターの接続部の仕上げ」(P.17) の後の固定となりますので固定しないでください。





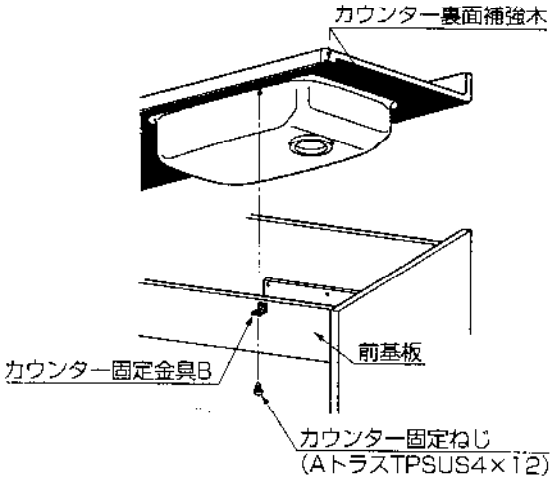


〔人造大理石カウンターの場合〕



〔ステンレスカウンターの場合〕

② シンク用フロアキャビネット前面上部（前幕板）のカウンター固定金具Bからもカウンター（裏面補強木）をカウンター固定ねじを使用し固定します。
※W750、900のシンク用フロアキャビネットには、カウンター固定金具Bは取り付けしてありません。
W1200、1350のキャビネットの場合に行ってください。



7. L形人造大理石カウンターの接続部の仕上げ

⚠ 注意

L形コーナー接続部に接着剤を前垂れからバックガードまで十分に充てんし仕上げ後、再度、仕上がりを確認してください。
※接着剤の充てんが不十分で、接続部にすき間があると、使用中の漏水の原因になります。

⚠ 警告

人造大理石カウンターの接続に使用する接着剤は接着剤に付属の施工説明書（注意表示）に従って正しく使用し、後処理してください。
※誤った使い方・後処理をすると人体に影響が出たり、発火の原因になります。

カウンターに付属の施工説明書に基づき、同梱の接続樹脂剤で仕上げます。

8. 水栓金具・排水器具の取付け

⚠ 注意

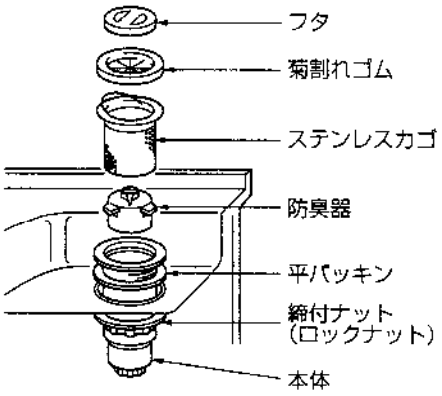
水栓金具・排水部品（大形ゴミ収納器等）の取付部・接続部のナットは十分に締付けを行ってください。
※ナットの締付けが不十分な場合、使用中に取付部から漏水する恐れがあります。
排水ホース・パイプはねじれ・折り曲げがないように建築側排水管と確実に接続を行ってください。
※使用中の漏水の原因となります。

（1）水栓金具の取付け

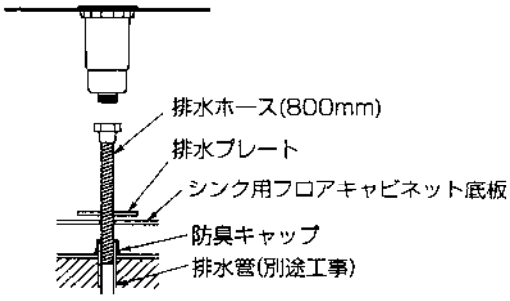
①水栓金具（KSF-442OS/SN-B）の取付けは、シンク用フロアキャビネット背板の点検口フタ（取付けねじ6本）を取り外し、専用締付工具（KG-23/別途手配）を使用して取り付けます。
※水栓金具に付属の施工説明書に基づき、取り付けます。

（2）排水器具の取付け

①大形ゴミ収納器は、下図の順序で取付け専用締付工具（HG-1A/別途手配）を使用して取り付けます。



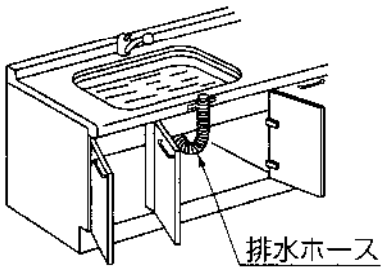
②排水ホースを下図の順序で大形ゴミ収納器に取り付けます。また、排水ホースと建築側排水管との接続部分は、防臭キャップを取り付け確実に固定します。



③水漏れの確認

●排水器具取付け完了後、下図のように排水ホースがシンクよりも上になるようテープなどで仮止めします。
※仮止めテープが外れ、床が水で漏れないように十分注意してください。

●シンクに水を浸たし30分ほど放置してから、排水器具の接合部（シンクと大形ゴミ収納器、大形ゴミ収納器と排水ホース）から水漏れがないことを確認します。



9. 機器類の取付け

各種機器の取り付けについては、機器付属の施工説明書（設置工事説明書）に基づき、取り付けます。

10. 防熱板の取付け（人造大理石カウンターのみ）

カウンターに同梱の防熱板（付属）の施工説明書に基づき、取り付けます。

11. 配管・配線の接続

⚠ 警告

水道・ガス・電気工事は、関連する法令・規定に従って必ず「有資格者」が行ってください。
※誤った接続や固定方法で行うと、漏水・発煙・火災・感電の原因となります。

専門の工事業者に依頼し、給水、給湯管、ガス管、電気配線の接続を行います。

12. 扉取っ手の取付け

両扉の取っ手を、取付用ねじを使用し、扉に取り付けます。
※Qシリーズ扉には、「すりキズ防止用」の養生シート（透明）が張り付けてありますので、全ての扉表面及び上下木口面の養生シートをはがし、取っ手を取り付けてください。

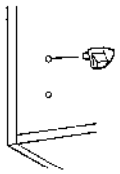
13. 棚板の取付け

⚠ 注意

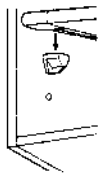
棚受けダボは側板に完全に差し込み、棚板をセットし確実に棚板が固定されていることを確認してください。
※棚板が落下してケガをする恐れがあります。

(1) キャビネット内部のゴミをはき出し、よく絞った柔らかい布で水ぶきします。
(2) 棚板を所定の位置にセットします。

① 側板のダボ穴に棚受けダボを完全に差し込みます。



② 上方から棚板を棚受けダボにセットします。



③ 棚板のセット完了

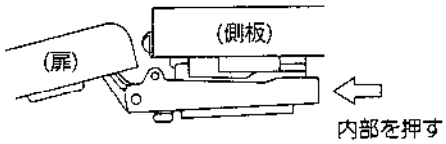
施工後の調節

1．扉の調節

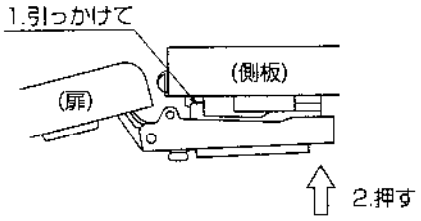
⚠ 注意

施工完了後は、扉の傾き、ガタつき、蝶番のゆるみがないことを確認してください。
また、確認、調節後は全ての扉（蝶番）のAねじおよびBねじを固く締め付けてください。
※締付けが不十分な場合、使用中に扉が落下しケガをする恐れがあります。

（扉のはずし方、はめ方）



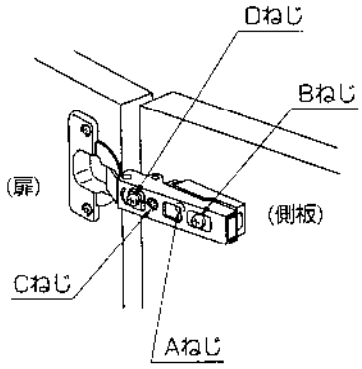
はずし方



はめ方

以下の要領で扉の調節を行ってください。

●取付けねじの役割



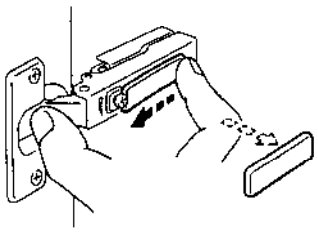
Aねじ　・・このねじをゆるめると扉を上下に調節することができます。

Bねじ　・・このねじをゆるめると扉を前後に調節することができます。

Cねじ　・・このねじをゆるめると扉を左右に調節することができます。

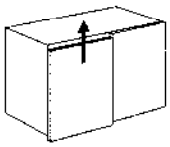
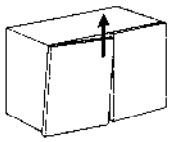
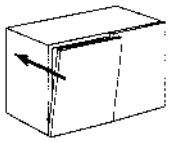
Dねじ　・・このねじを締めたりゆるめたりすることで扉が閉まる力を調節することができます。

〈キャップのはずし方〉



手前に引き寄せると簡単にはずれます。
調整後、つけ忘れのないようご確認ください。

●調節方法

扉を閉めた状態	調節方法
1．扉の高さが上下（垂直方向）にずれている場合 	(1)上下2つの蝶番のAねじをゆるめる。(左へまわす) (2)ずれている扉の高さを合わせ、Aねじを締める。 ※調節範囲　上下方向に3mm程度
2．扉の先端が下がっている〔上がっている〕場合 	(1)下〔上〕の蝶番のCねじを約1回転ほど締める（右へ回す）。 (2)扉を閉めて確認する。 (3)正しい位置になるまで（1）～（2）をくり返す。 ※調節範囲　左右方向へ4mm程度 ※上記（1）～（3）の調節で扉と扉のすき間が他のすき間と違ってきた場合は、上下の蝶番のCねじを同じ割合で回して調節してください。 ●右へ平行移動する場合 Cねじを右へ回す ●左へ平行移動する場合 Cねじを左へ回す
3．扉と側板のすき間が上下で違う場合 	(1)上の蝶番のBねじをゆるめ、扉を動かして正しい位置にする。 (2)正しい位置でBねじを締めつける。 ※調節範囲　前後方向へ3mm程度
4．扉が閉まる力の調節を行う場合 ※扉が閉まる力の調節機能は、コーナー用キャビネット間口150mmのキャビネットにはついていません。	(1)扉が閉まる力を大きくする場合 ●Dねじを右へ回す (2)扉が閉まる力を小さくする場合 ●Dねじを左へ回す

※1枚の扉だけで調節できない場合は、両隣りの扉も含めて調節してください。

2．点検・清掃

(1) 施工完了後、キャビネットや扉のホコリ・汚れは、やわらかい布でふき取ります。
(2) 水栓金具、排水部品が確実に取り付けされていることを確認します。
(3) 機器類は、付属の取扱説明書に従って、施工後の点検「試運転」を行います。

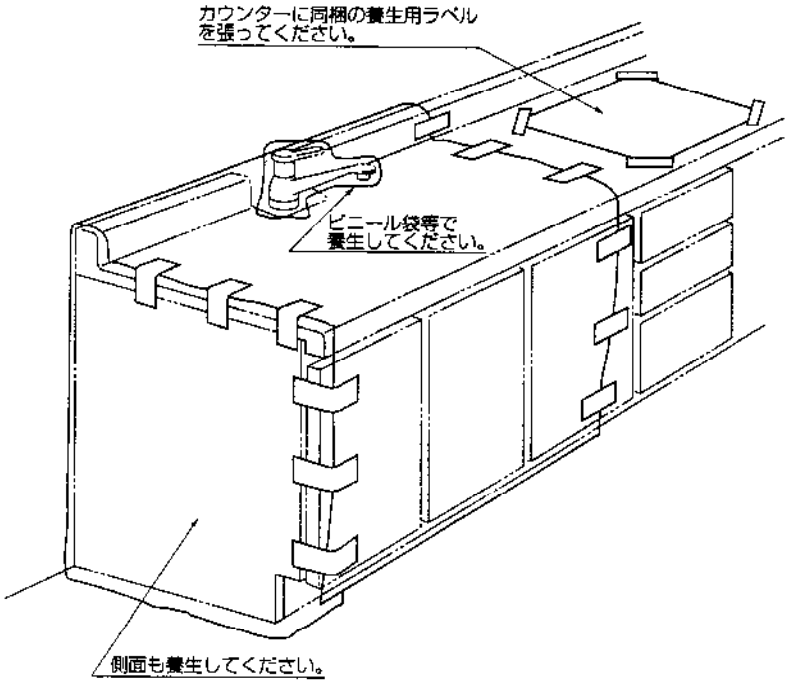
注意　●施工完了後のキャビネットや扉の汚れは、家具用ワックスやシンナー・アルコールなどの溶剤また研磨剤の入った洗剤は使用しないでください。
※光沢をなくしたり変色したりして、扉やキャビネットの表面を傷めます。

●カウンターやシンク内に水道工事等で出た鉄粉、鉄クズ、砂等が落ちている場合は、必ず水で洗い流してください。
※もらいサビの原因となります。

3. 養生

注意　テープを使用し養生を行う場合、キャビネットなどの商品表面テープ糊面が直接付かないようにしてください。
※商品表面に糊面が付きますと悪影響を及ぼす恐れがあります。

施工完了後、内装工事（タイル工事）などの後工事がある場合は、キャビネットやカウンターの梱包材を利用して、汚れ・キズが付かないよう養生を行います。



〔オプション部材の取付け〕

1. 食器戸棚ユニット（壁付タイプ）の取付け

⚠ 注意

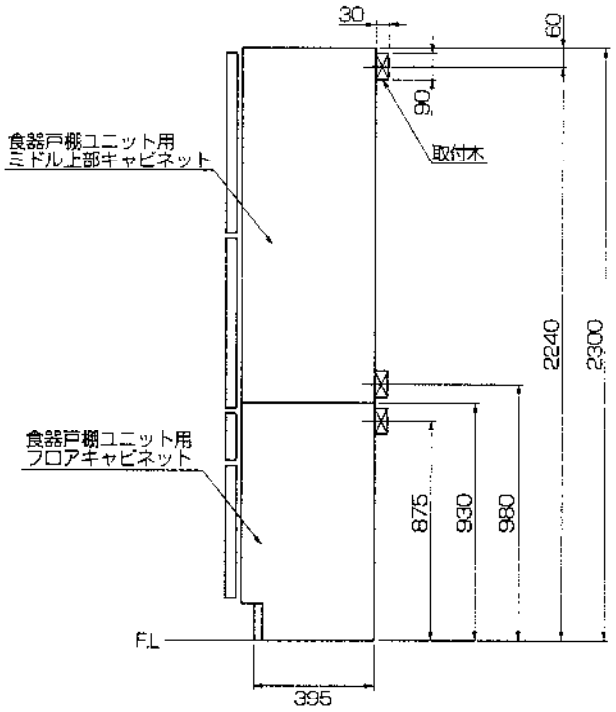
食器戸棚ユニットを取り付ける取付木（厚み30mm以上、幅90mm以上）が指定通りに使用されていることを確認してから取り付けてください。

※取付木に十分なねじ保持力がないと、使用中に食器戸棚ユニットが転倒し、ケガをする恐れがあります。

食器戸棚ユニットを単独で設置し使用する場合は、必ず壁面に固定するか、壁面あるいは、床面に固定されている他のキャビネットに連結してください。

※壁面に固定されていないと、使用中に食器戸棚ユニットが転倒しケガをする恐れがあります。

〔標準設置寸法と取付木の位置〕



(1) フロアキャビネットの取付け

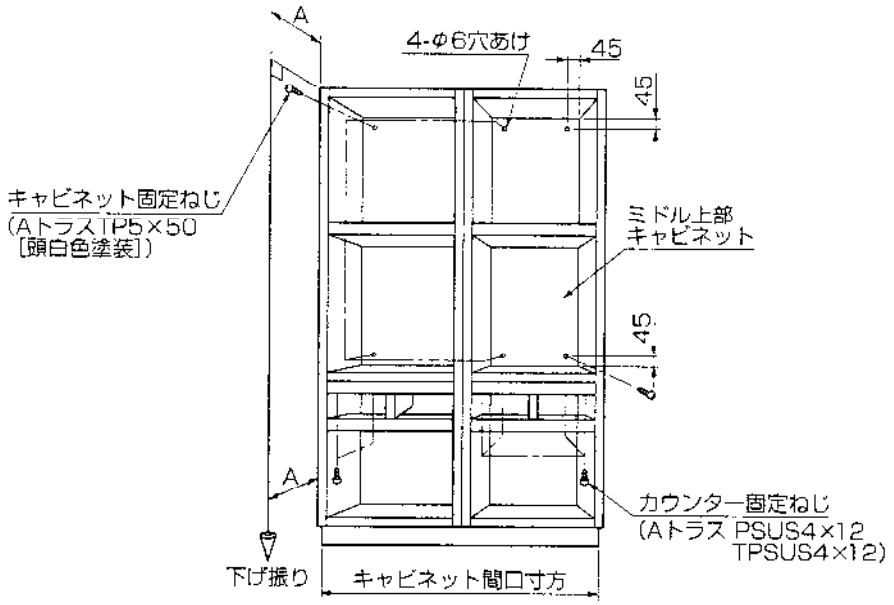
① 図面（キャビネット配置図）に基づき、フロアキャビネットを仮設置します。

② フロアキャビネットの上端の墨（H930）を基準に、水準器等で水平レベルを確認しながら隣接するキャビネットを連結ねじで連結します。

※フロアキャビネットの側板内面に連結案内用（半貫通）の下穴がありますので、その下穴を利用して、連結ねじ用下穴（φ3）をあけてください。**その際、反対側まで下穴を貫通させないよう注意してください。**

(2) ミドル上部キャビネットの取付け

①キャビネットの背板に壁固定用の下穴（φ6）をドリルであけます。

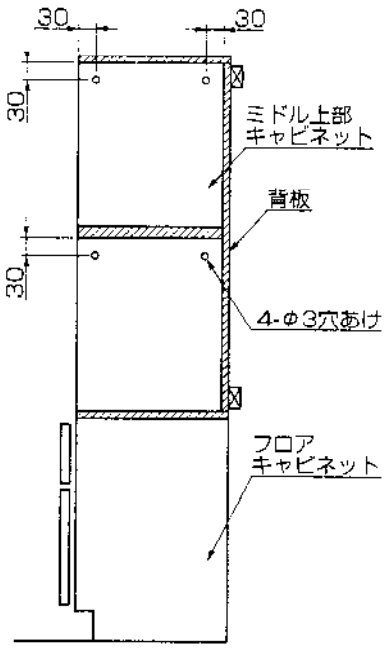


※図はW1500,1800mmの場合

②下図を参照し、連結ねじを通す側のキャビネット側板に連結用の下穴（φ3）をあけます。

※連結用下穴は、必ずキャビネット内部より穴あけしてください。

※ウォールキャビネットとの連結接続を行う場合は、「3．ウォールキャビネットの取付け／（3）キャビネットの取付け（P.13)」を優先し、連結穴（φ3）をあけてください。



③キャビネット本体前面が合うように隣接するキャビネットへキャビネット連結ねじ（コースレッドスクリュー3.8×25〔頭白色塗装〕）で連結します。

④フロアキャビネット内部から、「6．カウンターの取付け（P.16)」と同様にミドル上部キャビネットをカウンター固定金具を通し、カウンター固定ねじで固定します。

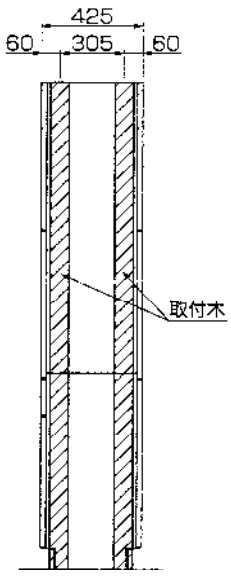
2. 食器戸棚ユニット（両面タイプ）の取付け

⚠ 注意

食器戸棚ユニットを取り付ける取付木（厚み30mm以上、幅90mm以上）が指定通りに使用されていることを確認してから取り付けてください。
※取付木に十分なねじ保持力がないと、使用中に食器戸棚ユニットが転倒し、ケガをする恐れがあります。

食器戸棚ユニットを単独で設置し使用する場合は、必ず壁面に固定するか、壁面あるいは、床面に固定されている他のキャビネットに連結してください。
※壁面に固定されていないと、使用中に食器戸棚ユニットが転倒しケガをする恐れがあります。

〔標準設置寸法と取付木の位置〕



(1) フロアキャビネットの取付け

①図面（キャビネット配置図）に基づき、フロアキャビネットを仮設置します。

②壁固定ねじ用の下穴（φ6）を壁面に隣接するキャビネットの側板に穴あけします。
※フロアキャビネットの側板内面に連結案内用（半貫通）の下穴がありますので、その下穴を利用して壁固定ねじ用下穴（φ6）をあけてください。

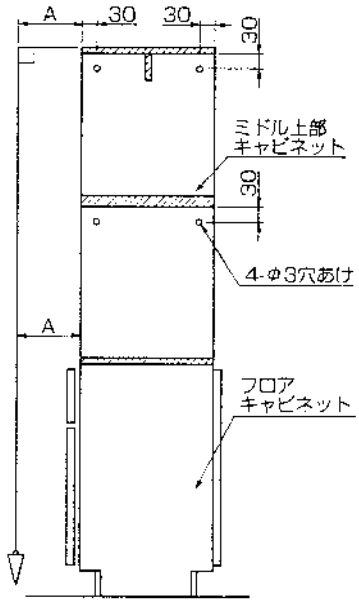
③壁面側へ仮設置したキャビネットへ隣接するキャビネットの側板へ連結ねじ用の下穴（φ3）をあけ、連結ねじ（コースレッドスクリュー3.8×25〔頭白色塗装〕）で連結します。

(2) ミドル上部キャビネットの取付け

①右図を参照し、ミドル上部キャビネットの側板（壁面に隣接するキャビネットの側板）に壁固定用ねじ穴（φ6）をあけます。

②壁面側へ仮設置したキャビネットへ隣接するキャビネットの側板へ連結ねじ用の下穴（φ3）をあけ、連結ねじ（コースレッドスクリュー3.8×25〔頭白色塗装〕）で連結します。

③フロアキャビネット内部からカウンター固定金具を通しカウンター固定ねじ（AトラスTPSUS4×12）で固定します。



(3) 壁面への固定

水準器・下げ振り等を利用して、垂直レベルを確認しながらキャビネット固定ねじ（AトラスTP5×50〔頭白色塗装〕）で壁面へ取り付けます。

3. サービスカウンター（壁付タイプ）の取付け

⚠ 注意

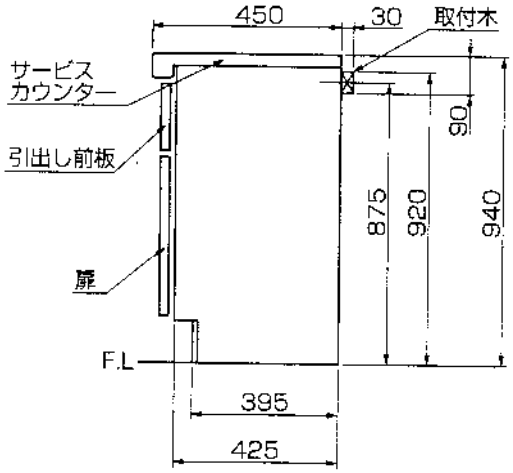
サービスカウンターを取り付ける取付木（厚さ30mm以上、幅90mm以上）が指定通りに使用されていることを確認してから取り付けてください。

※取付木に十分なねじ保持力がないと、使用中にサービスカウンターが転倒し、ケガをする恐れがあります。

サービスカウンターを単独で設置し使用する場合は、必ず壁面に固定するか壁面あるいは床面に固定されている他のキャビネットに連結してください。

※壁面に固定されていないと、使用中にサービスカウンターが転倒し、ケガをする恐れがあります。

〔標準設置寸法と取付木の位置〕

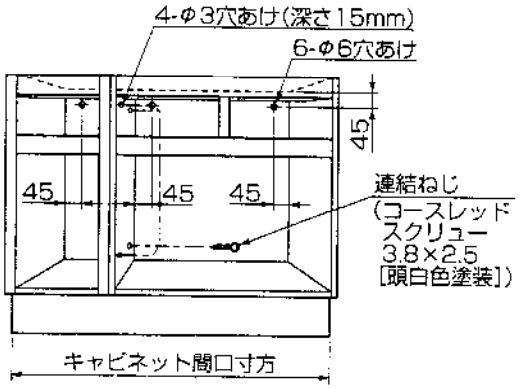


(1) フロアキャビネットの取付け

①図面（キャビネット配置図）に基づき、フロアキャビネットを仮設置します。

②壁固定ねじ用の下穴（φ6）を右図を参照し、穴をあけます。

③フロアキャビネットの上端の墨（H920）を基準に、水準器等で水平レベルを確認しながら、隣接するキャビネットを連結ねじで連結します。



※図はW1350mmの場合

※フロアキャビネットの側板内面に連結案内用（半貫通）の下穴がありますので、その下穴を利用して、連結ねじ用下穴（φ3）をあけてください。
その際、反対側まで下穴を貫通させないよう注意してください。

(2) カウンターの取付け

フロアキャビネット内部からカウンター固定金具を通し、カウンター固定ねじ（AトラスTPSUS4×12）で固定します。

※カウンターとフロアキャビネット両側面の収まりが左右均等になるよう振り分けて固定します。

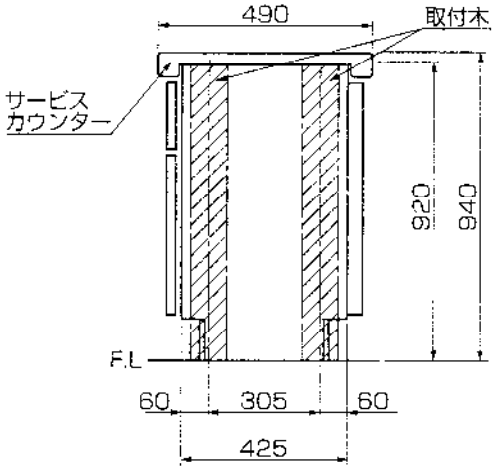
4. サービスカウンター（両面タイプ）の取付け

⚠ 注意

サービスカウンターを取り付ける取付木（厚さ30mm以上、幅90mm以上）が指定通りに使用されていることを確認してから取り付けてください。
※取付木に十分なねじ保持力がないと、使用中にサービスカウンターが転倒し、ケガをする恐れがあります。

サービスカウンターを単独で設置し使用する場合は、必ず壁面に固定するか壁面あるいは床面に固定されている他のキャビネットに連結してください。
※壁面に固定されていないと、使用中にサービスカウンターが転倒しケガをする恐れがあります。

〔標準設置寸法と取付木の位置〕



(1) フロアキャビネットの取付け

①図面（キャビネット配置図）に基づき、フロアキャビネットを仮設置します。

②壁固定ねじ用の下穴（φ6）を壁面に隣接するキャビネットの側板に穴あけします。
※フロアキャビネットの側板内面に連結案内用（半貫通）の下穴がありますので、その下穴を利用して壁固定ねじ用下穴（φ6）をあけてください。

③フロアキャビネットの上端の墨（H920）を基準に、水準器等で水平レベルを確認しながら壁面に隣接するキャビネットを壁固定ねじ（AトラスTP5×50〔頭白色塗装〕）で取り付けます。

④壁面へ固定したキャビネットを基準に、隣接するキャビネットを連結ねじ（ユースレッドスクリュー3.8×25〔頭白色塗装〕）で連結します。

(2) カウンターの取付け

フロアキャビネット内部からカウンター固定金具を通しカウンター固定ねじ（AトラスTPSUS4×12）で固定します。

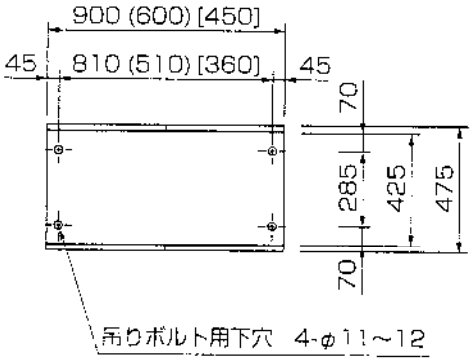
5. 両面ハッチウォールキャビネットの取付け

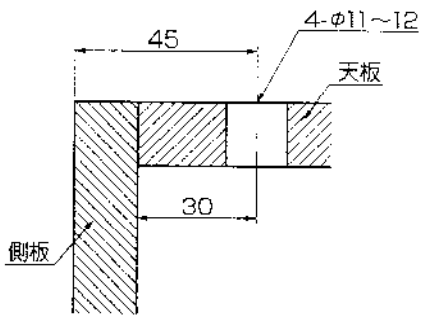
※同施工方法は吊り金具セット（CP-800+WR/別途手配）を使用した場合のものです。
吊りボルト類を現場調達されている場合は、同施工方法のL形吊り金具および化粧カバーがない収まりで、六角ナットを袋ナットに換えて取り付けを行ってください。
※吊りボルトの長さは、あらかじめ取付高さに合わせて切断しておいてください。

⚠ 注意

吊りボルトは吊り重量（180kg）に十分耐えられるよう、補強工事を行ってください。
※補強工事が十分でなく吊り重量に耐えられない場合、使用中にウォールキャビネットが落下し、ケガをする恐れがあります。

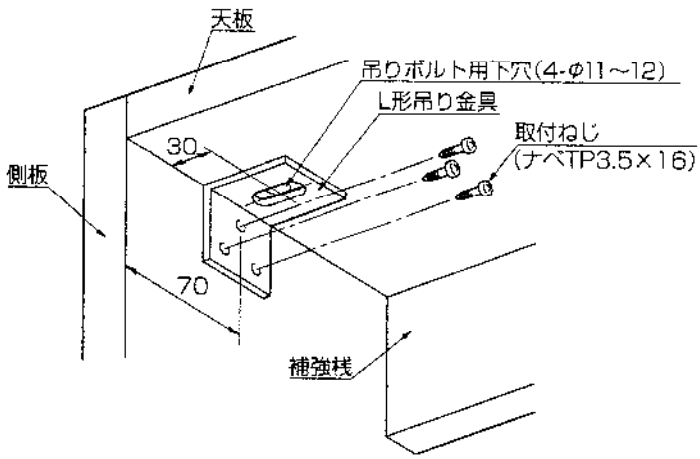
〔吊りボルト位置〕



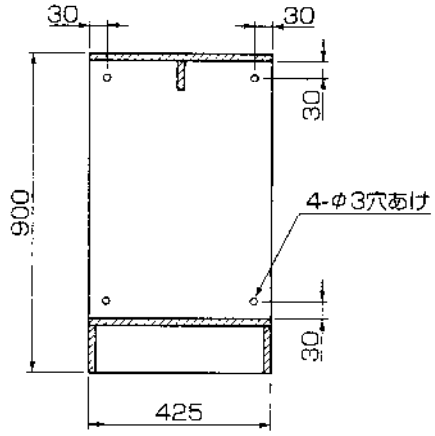


(1) 天井より吊り下げられている吊りボルト位置（間隔・長さ）を測定し、隣接するキャビネット側板または壁面との吊りボルト位置を確認します。

(2) 吊りボルトの位置に合わせて、キャビネット天板に吊りボルト用の下穴（φ11～12）をあけ、吊り金具セットに同梱のL形金具を取付ねじで取り付けます。
※吊りボルト用の下穴は、必ずキャビネット内部より行ってください。



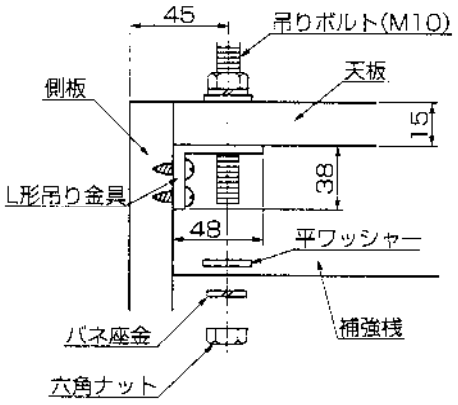
(4) 両面ハッチ、食器戸棚ユニット（両面タイプ）が隣接設置される場合は、隣接する側の側板にあらかじめ連結ねじ用の下穴（φ3）をあけておきます。

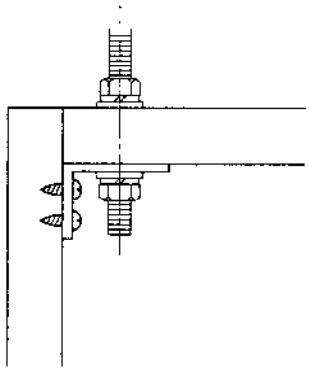


(5) 吊りボルト（M10）に六角ナットを各1個ずつ取り付けます。

(6) 吊りボルトに平ワッシャーおよびバネ座金を通した後、L形吊り金具のボルト穴に各吊りボルトを通して、下から平ワッシャー、六角ナットで締め付け固定します。

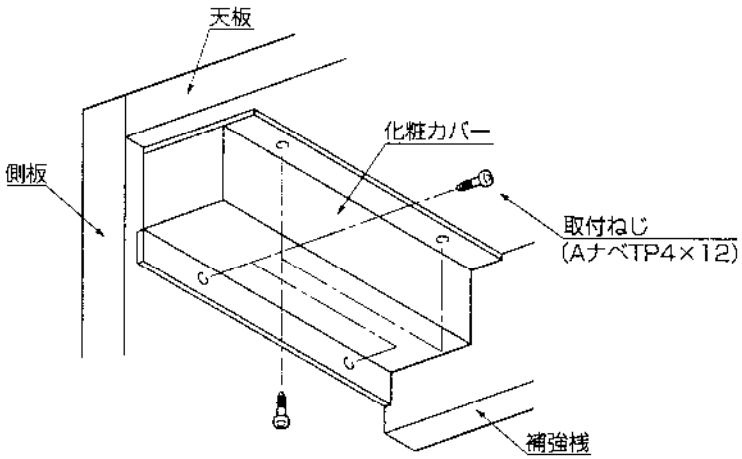
※キャビネットの取付けは、水準器、下げ振りなどを利用し水平を確認しながら行ってください。

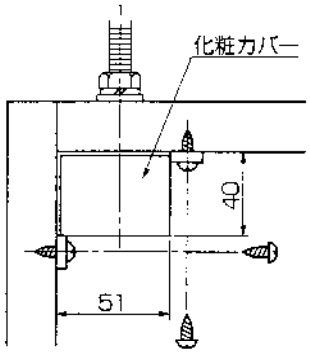




(7) 吊り金具セットに同梱の化粧カバーを取付ねじで取り付けます。

※隣接設置されるキャビネットがある場合、化粧カバーを取り付ける前に、キャビネットに同梱の連結ねじ（コースレッドスクリュー3.8×25〔頭白色塗装〕）で取り付けてください。





6. ウォールキャビネット用間口調整フィラーの取付け

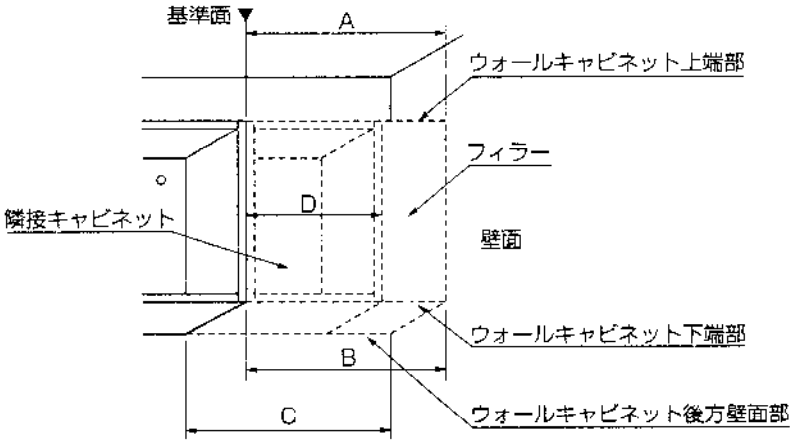
※フィラーの間口調整可能範囲：150~40mm
※同部材はパーツで現場納入されます。以下の手順で加工・組立・設置してください。

(1) 同梱部材を確認します。
〔部材明細〕

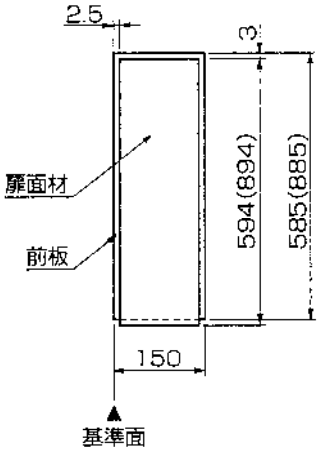
●扉面材（扉同色）	：145×594（894）	×1枚
●フィラー本体用前板	：150×585（885）×t15	×1枚
●フィラー本体用底板	：150×350×t15	×1枚
●フィラー本体用側板	：100×585（885）×t15	×1枚
●取付桟	：20×20×L585（885）	×2本
●扉面材取付ねじ	：丸木ねじ3.5×30	×18本
●取付桟取付ねじ	：コースレッドスクリュー3.8×25〔頭白色塗装〕	×6本

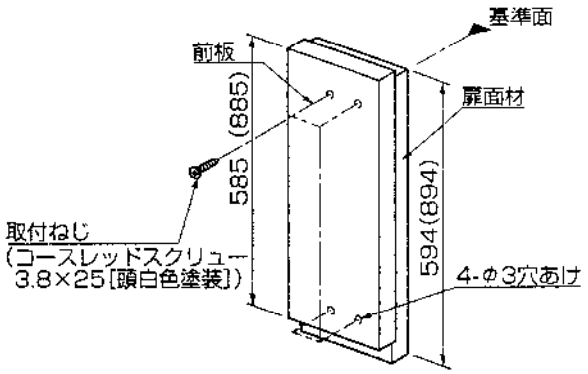
※（　）内寸法はウォールH900mmの場合

(2) 隣接するキャビネットを仮設置し、壁面との寸法（間口）A,B,Cを測定します。



(3) フィラー本体用前板と扉面材を下図を参照し下穴（φ3）をあけた後、取付ねじ（4本）を使用し取り付けます。





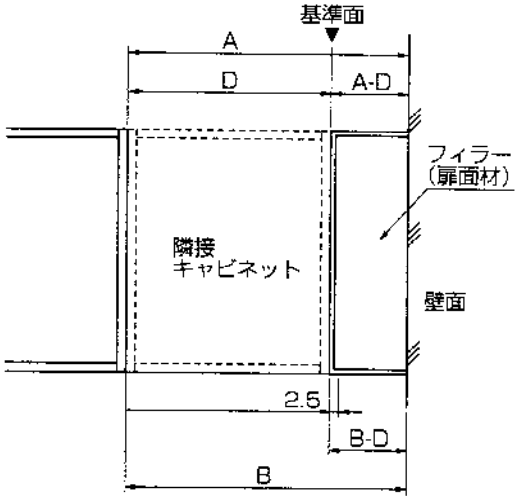
※（　）内寸法はウォールキャビネット（H900）用の場合

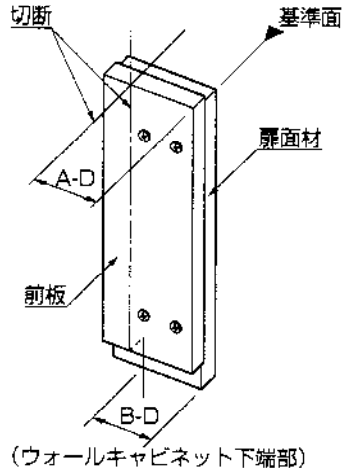
※フィラー本体用前板と扉面材の取付ねじ固定位置は最終的に仕上げるフィラーの間口寸法を基に決めてください。

（後の作業（4）でフィラー本体用前板+扉面材を必要とする間口寸法で切断しますが、その際、ノコギリ等の刃が取付ねじを引っ掛ける恐れがありますので注意してください。）

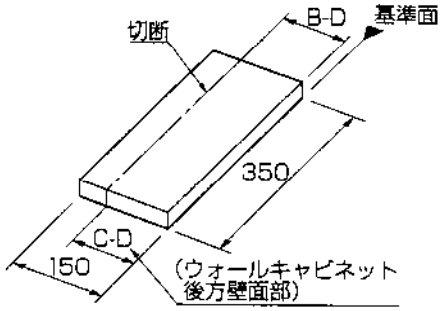
※フィラーの間口寸法が狭い場合、縦1列の2カ所（上、下端）に取付ねじを使用し取り付けてください。

(4) 測定した寸法（A,B,C）より隣接するキャビネットの間口寸法（D）を引き、フィラー本体用前板+扉面材、フィラー本体用底板の2部材を基準面を基に必要間口寸法に切断します。
※フィラー本体用側板の切断加工は不要です。



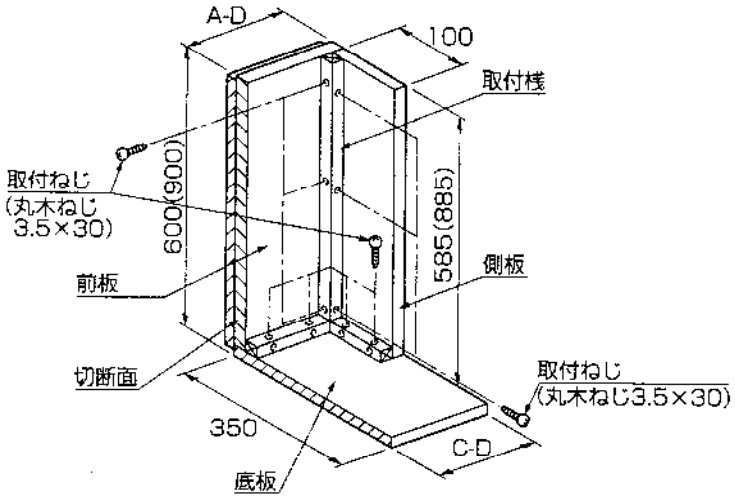


〔前板+扉面材の切断〕



〔底板の切断〕

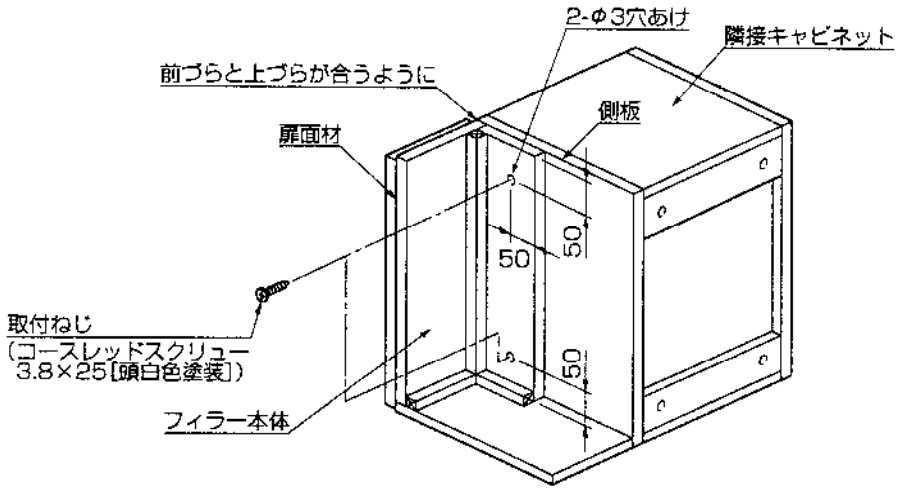
(5) 取付桟をフィラー本体用前板、底板、側板の裏面に取付ねじ（14本）を使用し取り付けます。



※（　　）内寸法は、ウォールキャビネット（H900）用の場合

(6) キャビネット本体前面とフィラー本体前板前面及び下面を合せフィラーを同梱の取付ねじ（2本）を使用し取り付けます。

※隣接するキャビネットへフィラー本体を取り付けるねじの下穴（φ3）をあらかじめあけておいてください。



(7) フィラーを隣接するキャビネットに取り付けた後、「3．ウォールキャビネットの取付け／（3）キャビネットの取付け③、④（P.13～14）」の手順に基づき、キャビネットを壁面へ取り付けます。

7. フロアキャビネット用間口調整フィラーの取付け

※フィラーの間口調整可能範囲：150～40mm

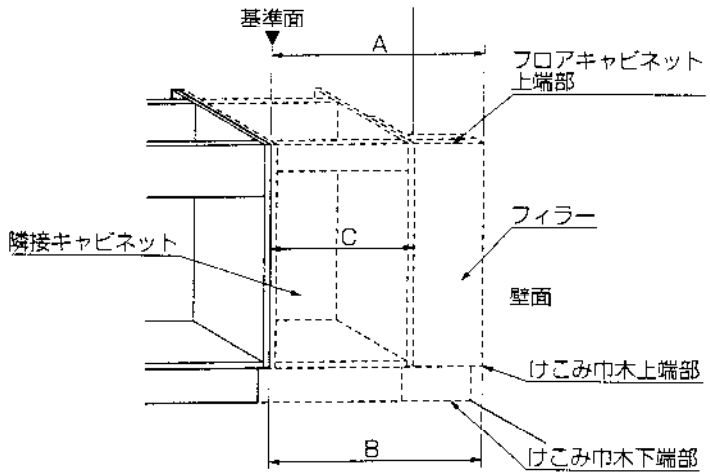
※同部材はパーツで現場納入されますので、以下の手順に基づき設置してください。

（1）同梱部材を確認します。

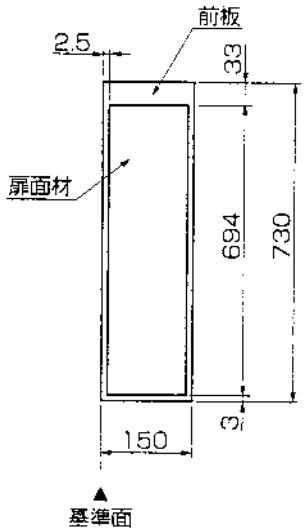
〔部材明細〕

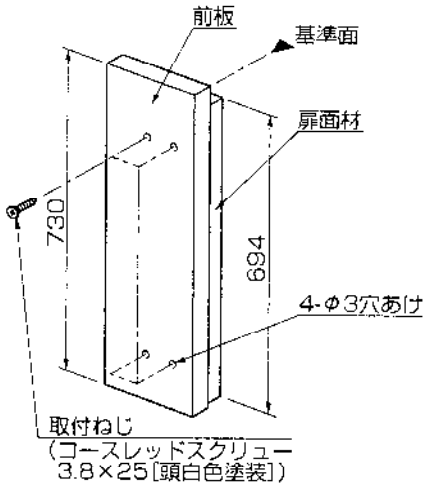
●扉面材（扉同色）	：145×694	×1枚
●フィラー本体用前板	：150×730×t15	×1枚
●フィラー本体用底板	：135×100×t15	×1枚
●フィラー本体用側板	：100×830×t15	×1枚
●けこみ巾木取付用板	：150×100×t15	×1枚
●けこみ巾木	：150×100×t12	×1枚
●取付桟	：20×20×L715	×2本
●扉面材取付ねじ	：丸木ねじ3.5×30	×18本
●取付桟取付ねじ	：コースレッドスクリュー3.8×25〔頭白色塗装〕	×6本

（2）隣接するキャビネットを仮設置して、壁面との寸法（間口）A.Bを測定します。



（3）フィラー本体前板と扉面材を下図を参考に、下穴（φ3）をあけた後、取付ねじ（4本）を使用し取り付けます。





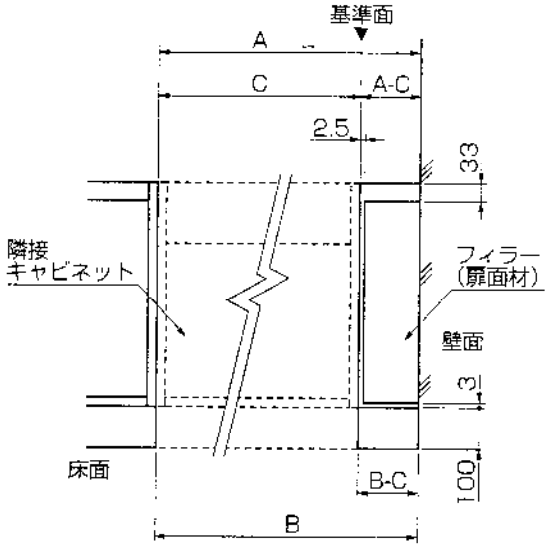
※フィラー本体用前板と扉面材の取付ねじ固定位置は、最終的に仕上げるフィラーの間口寸法を基に決めてください。

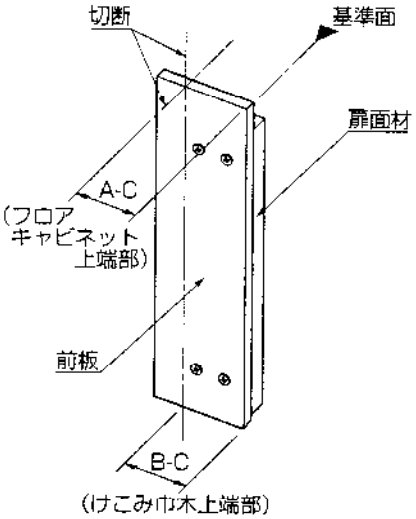
後の作業（4）でフィラー本体用前板+扉面材を必要とする間口寸法で切断しますが、その際ノコギリ等の刃が取付ねじを引っ掛ける恐れがありますので、注意してください。

※フィラーの間口寸法が狭い場合、縦1列の2カ所（上・下端）に取付ねじを使用し取り付けてください。

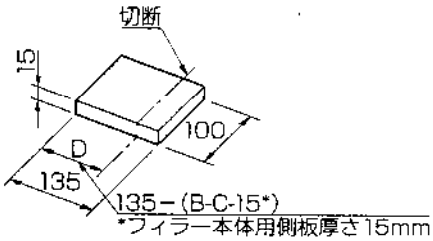
(4) 測定した寸法（A、B）より隣接するキャビネットの間口寸法（C）を引きフィラー本体用前板+扉面材、フィラー本体用底板、けこみ巾木取付用板、けこみ巾木の4部材を基準面を基に、必要間口寸法に切断します。

※フィラー本体用側板の切断加工は不要です。

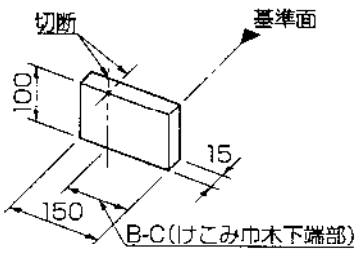




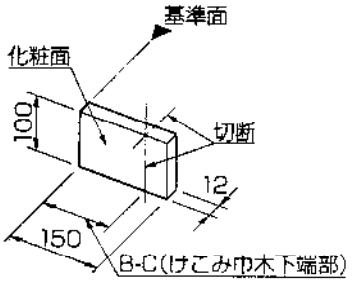
〔前板+扉面材の切断〕



〔底板の切断〕

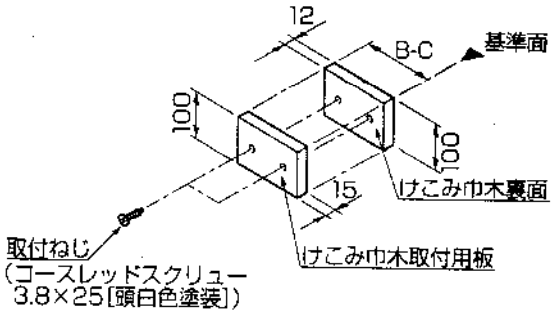


〔けこみ巾木取付用板の切断〕

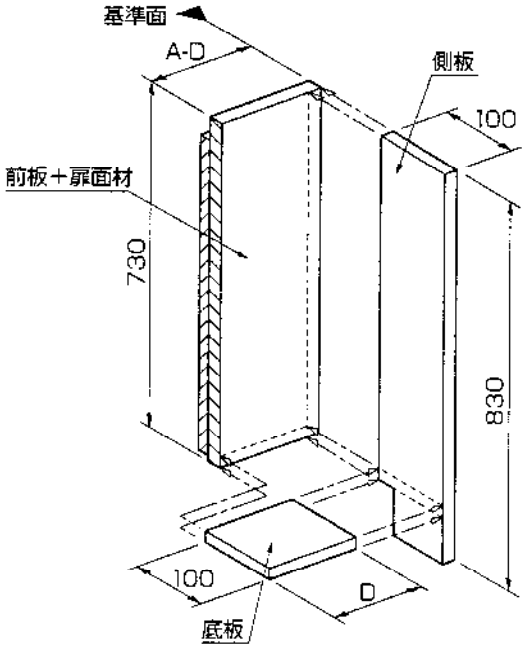


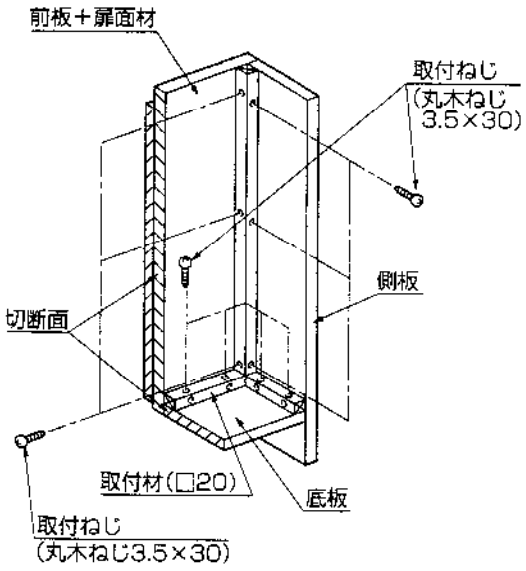
〔けこみ巾木の切断〕

(5) 必要間口寸法に切断した、けこみ巾木とけこみ巾木取付用板を取付ねじ（2本）を使用し取り付けます。

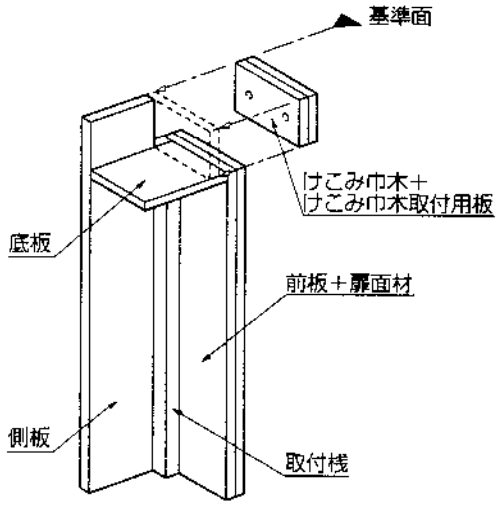


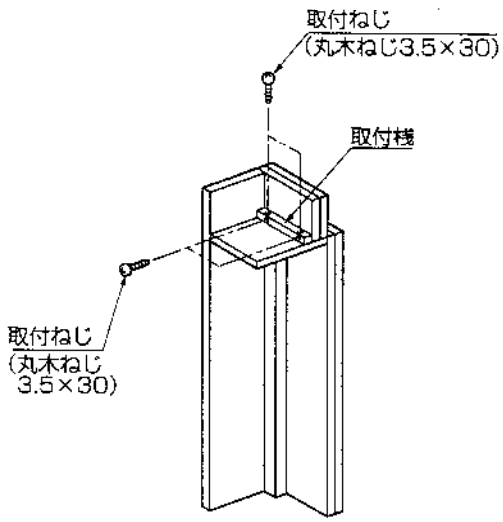
(6) 取付桟をフィラー本体用前板、底板、側板の裏面に取付ねじ（14本）を使用し取り付けます。



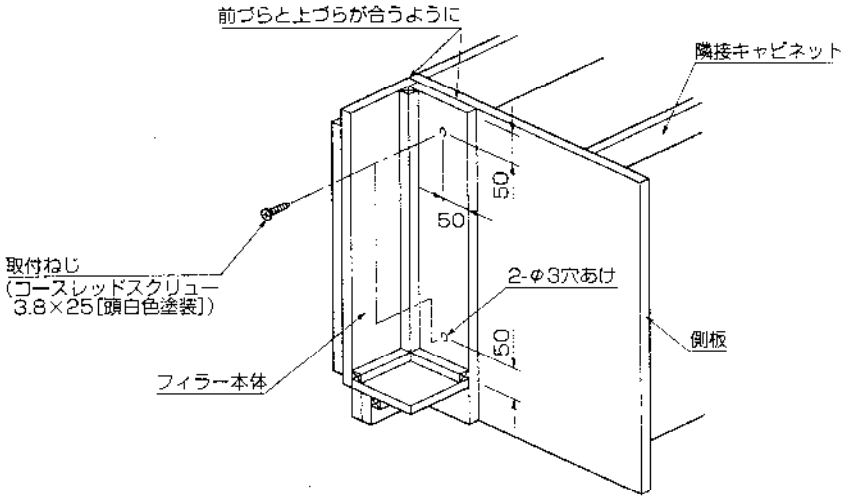


(7) 前工程（6）で固定した前板+扉面材、底板、側板に、⑤で固定したけこみ巾木+けこみ巾木取付用板を取り付けます。





(8) キャビネット本体前面とフィラー本体前板前面およびキャビネット上面を合せ同梱の取付ねじ（2本）を使用し取り付けます。

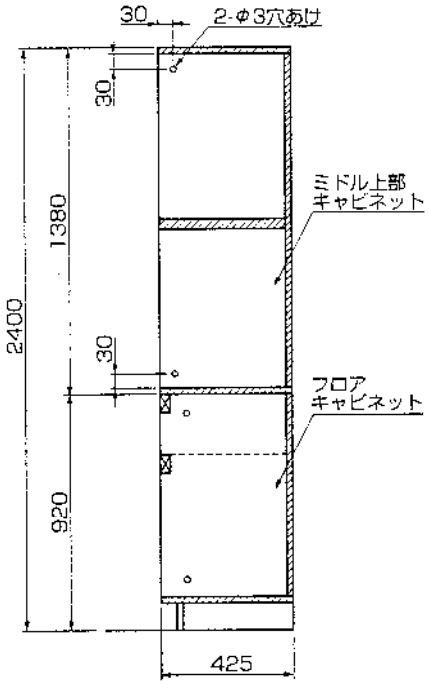


(9) フィラーを隣接するキャビネットに取り付けた後、「5. フロアキャビネットの取付け（4）（P.15）」の手順に基づき、キャビネットを設置します。

8. 食器戸棚ユニット用小口フィラーの取付け

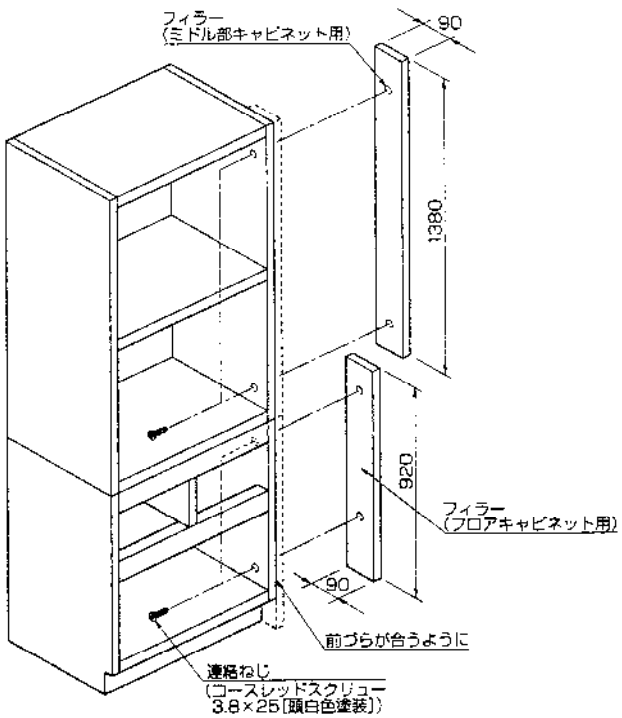
※同部材は、2分割のパーツで現場納入されますので以下の手順に基づき設置してください。

(1) 取り付ける食器戸棚ユニットのフロアキャビネット及びミドル上部キャビネット側板（手前上下2ケ所）へ連結ねじ用の下穴（φ3）をあけます。



※フロアキャビネットへの穴あけは、側板内面に、連結案内用（半貫通）の下穴がありますのでその下穴を利用して連結ねじ用下穴（φ3）をあけてください。

(2) キャビネット本体前面と、フィラー前面を合せ、キャビネット同梱の連結ねじ（4本）で連結します。



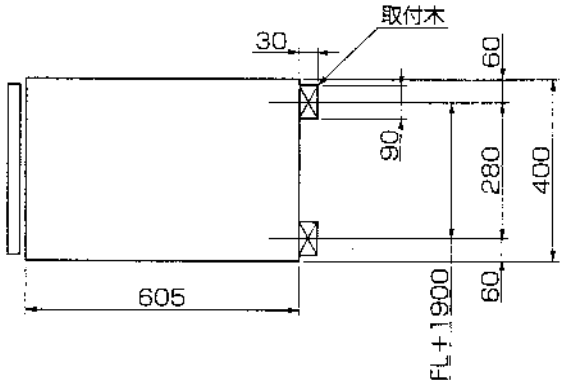
9. 冷蔵庫用上部ウォールキャビネットの取付け

⚠ 注意

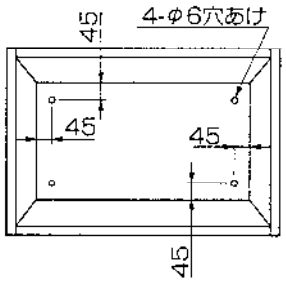
ウォールキャビネットを取り付ける取付木（厚さ30mm以上、幅90mm以上）が指定通りに使用されていることを確認してから取り付けてください。

※取付木に十分なねじ保持力がないと、使用中にウォールキャビネットが落下し、ケガをする恐れがあります。

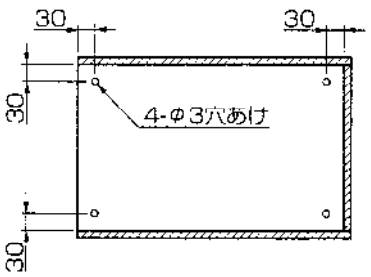
〔標準設置寸法と取付木の位置〕



(1) 右図の寸法を参照して冷蔵庫上部用ウォールキャビネットの背板に壁固定ねじ用の下穴（φ6）をあけ、壁固定ねじで壁面に取り付けます。



(2) 冷蔵庫用サイドパネルとの連結
右図の寸法を参照して、冷蔵庫用上部ウォールキャビネットの側板に内側から連結ねじ用の下穴（φ3）をあけ、連結ねじ（コースレッドスクリュー3.8×25〔頭白色塗装〕）で連結します。

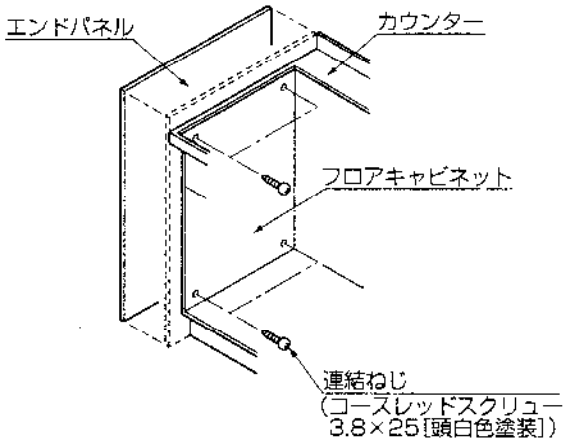


10 エンドパネル（サイドパネル）の取付け

(1) フロアキャビネット用およびサービスカウンター用の取付け

① フロアキャビネットの連結と同様にキャビネットに同梱の連結ねじで連結します。

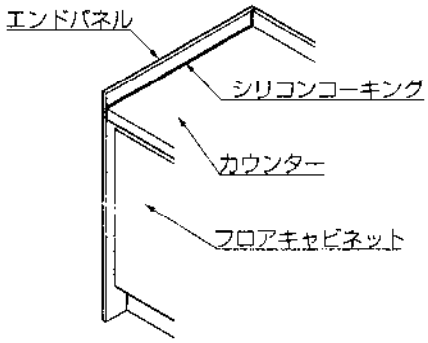
※ フロアキャビネット側板内面に、連結案内用（半貫通）の下穴がありますので、その下穴を利用して連結用下穴（φ3）をあけてください。



② カウンターとエンドパネルとの接合部にシリコン（クリヤー）コーキングを行います。

※ コーキング終了後、直ちにマスキングテープははがしてください。

※ コーキングが不十分な場合、水が侵入しフロアキャビネット等への腐食の原因となります。



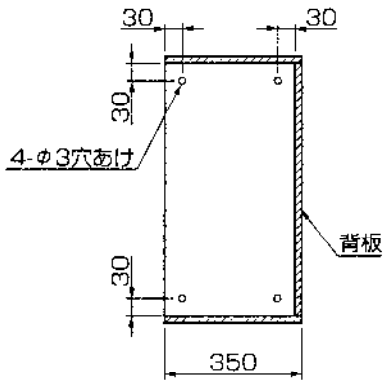
(2) ウォールキャビネット用の取付け

※ パネルの全高はキャビネット全高+300mmで現場納入されます。
現場に応じて切断してください。

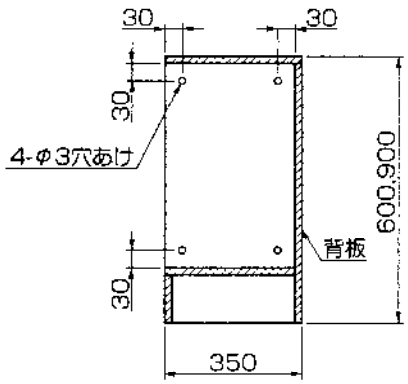
① ウォールキャビネットの連結と同様に、側板に連結ねじ用の下穴（φ3）をあけます。

〔連結用下穴位置〕

●壁付用ウォールの取付けの場合

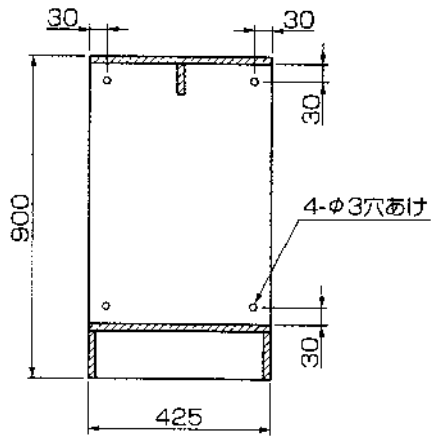


〔照明スペース付以外の場合〕

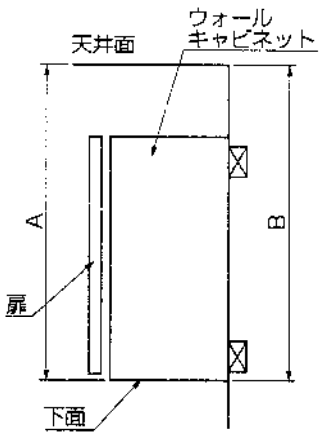


〔照明スペース付の場合〕

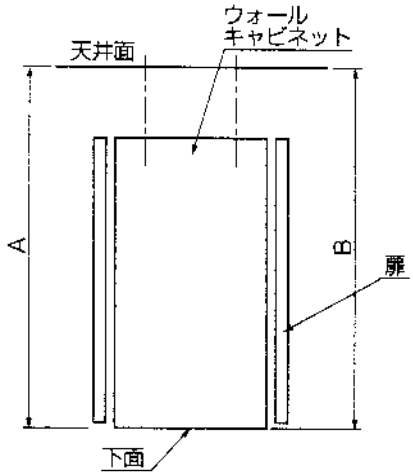
●両面用ウォールの取付けの場合



②ウォールキャビネット下面から天井面までの寸法（A, B）を測定し、測定寸法に合せパネル高さを切断します。

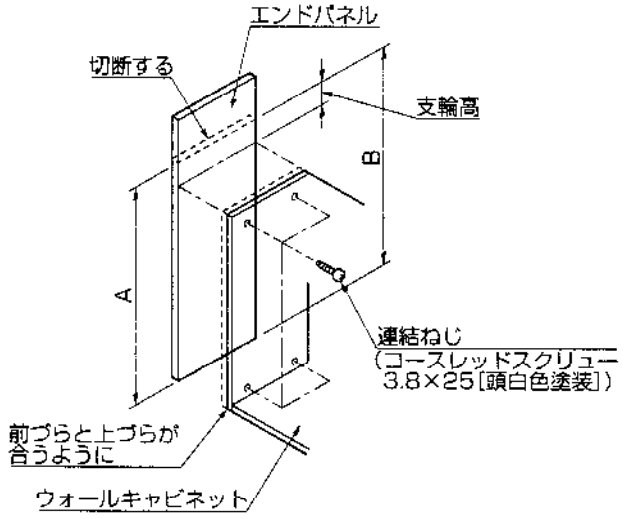


〔壁付用の場合〕



〔両面用の場合〕

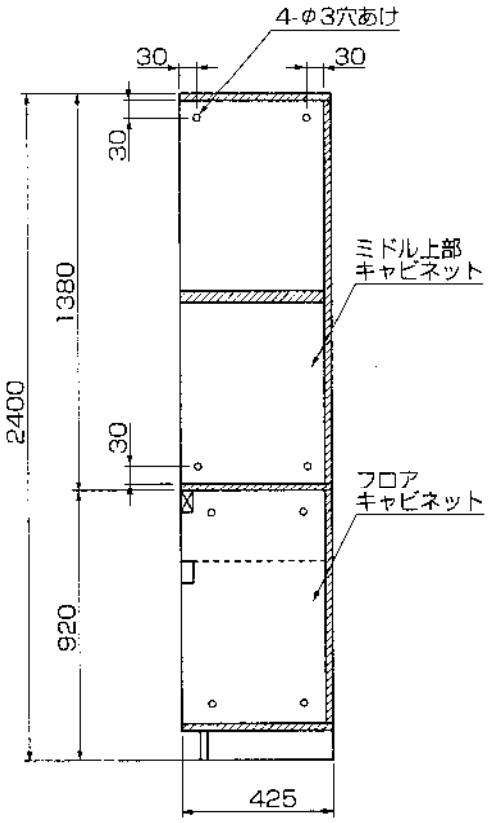
③ウォールキャビネットの連結と同様に、キャビネットに同梱の連結ねじで連結します。



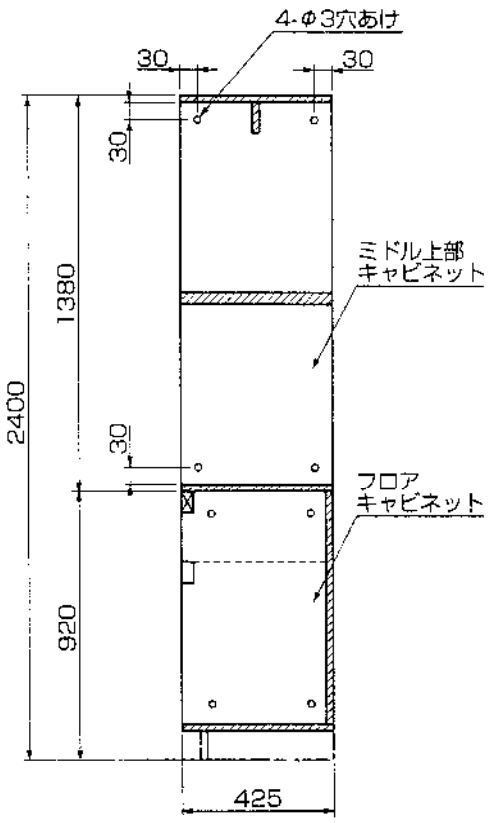
(3) 食器戸棚ユニット用の取付け

※パネルは壁付用、両面用兼用です。

①取り付ける食器戸棚ユニット（フロアキャビネット、ミドル上部キャビネット）の側板へ連結ねじ用の下穴（φ3）をあけます。



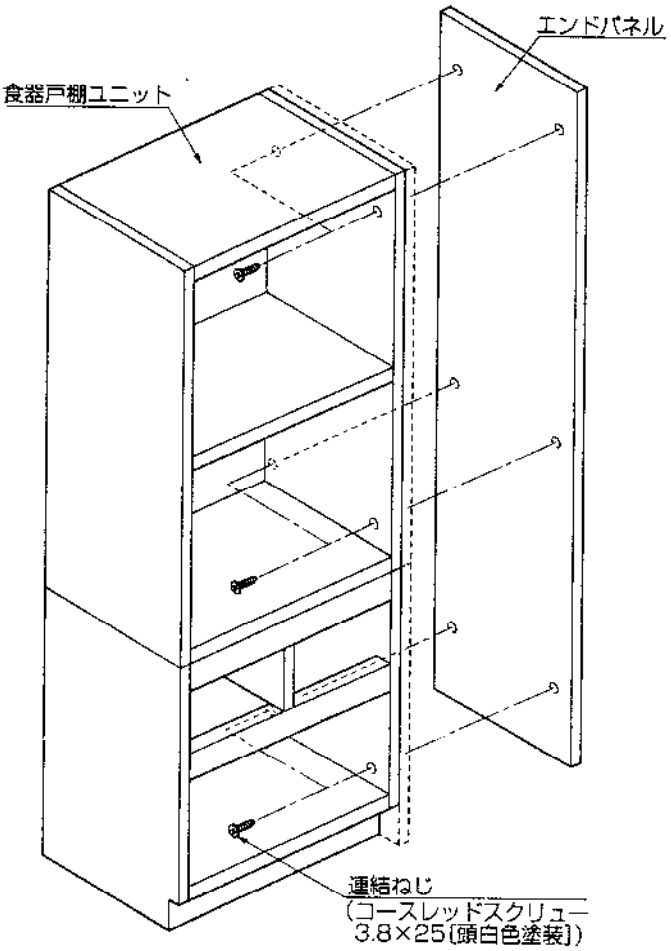
〔壁付用の場合〕



〔両面用の場合〕

※フロアキャビネットへの穴あけは、側板内面に連結案内用（半貫通）の下穴がありますので、その下穴を利用して、下部2ケ所の連結ねじ用下穴（φ3）をあけてください。

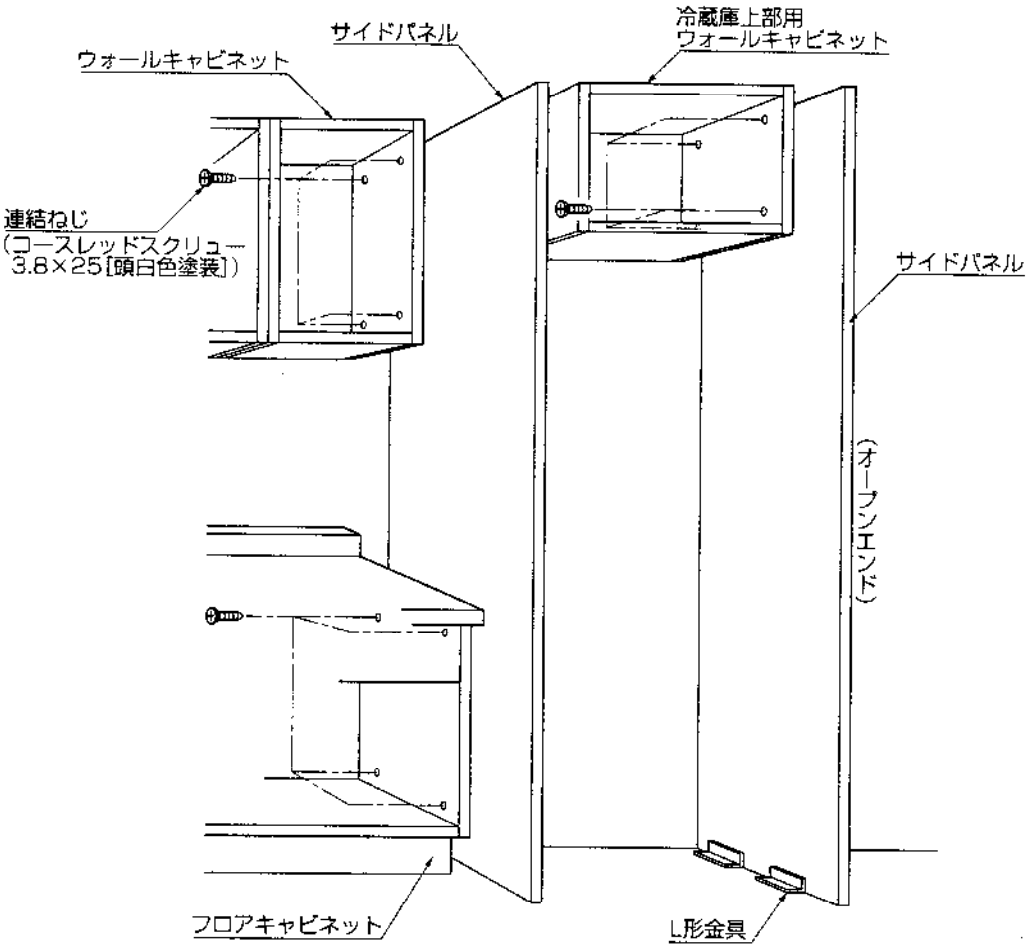
② キャビネット本体前面とパネル前面を合せ、キャビネット同梱の連結ねじで連結します



(4) 冷蔵庫用サイドパネルの取付け

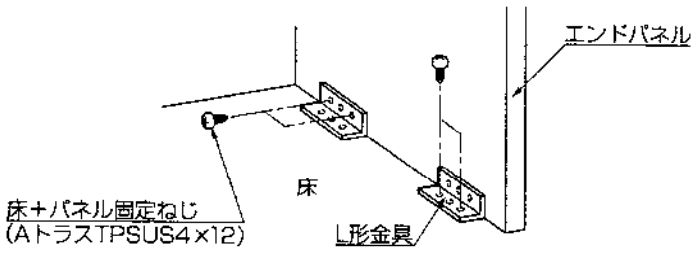
※パネル全高は、2400mmで現場納入されます。
現場に応じて切断してください。

①隣接するキャビネットと連結するための連結ねじ用の下穴（φ3）をあけます。



※フロアキャビネット、ウォールキャビネット、冷蔵庫上部用ウォールキャビネット側板への連結ねじ用の下穴（φ3）の位置は、各キャビネットの取付け「連結用下穴位置」を参照し行ってください。

②冷蔵庫用サイドパネルがオープンエンドとなる場合は、パネルの下端を同梱のL形金具を使用し、床パネル固定ねじ（8本）で床とパネルを固定します。



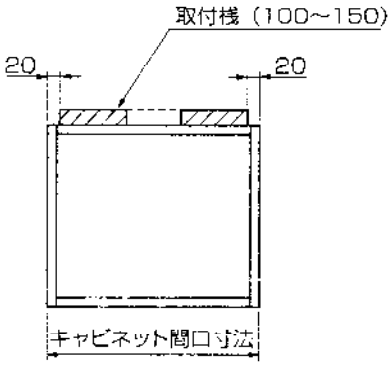
11. 支輪の取付け

※支輪取付桟用の取付ねじは別途手配です。
　取付ねじは、丸木ねじ3.5×30（最適寸法）を使用し、取り付けてください。
※支輪全高は、300mmで現場納入されます。現場に応じて切断してください。

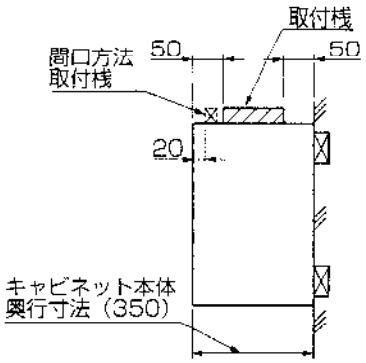
(1) 取付桟の取付け

※キャビネット類を建築躯体に取り付ける前に、取付桟をキャビネットに取り付けてください。
　①取付桟を下図を参考にキャビネットごとに切断します。
　　キャビネット本体の間口寸法に対し40mm程度短く、奥行寸法に対し100mm程度短く切断します。

■ウォールキャビネット（壁付タイプ）の場合

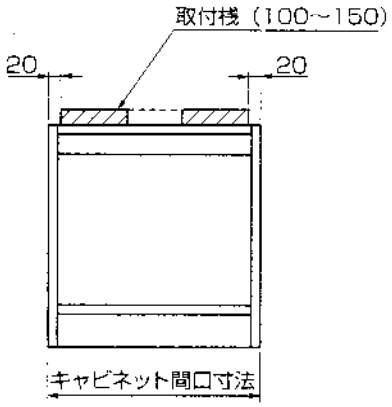


〔間口方向（正面図）〕

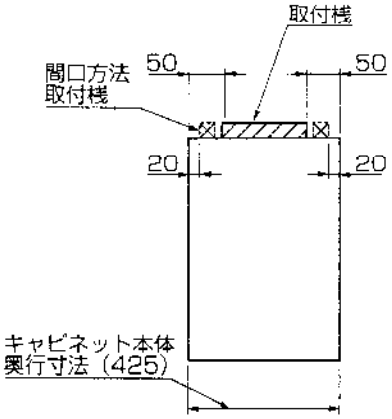


〔奥行方向（側面図）〕

■ウォールキャビネット（両面タイプ）の場合



〔間口方向（正面図）〕

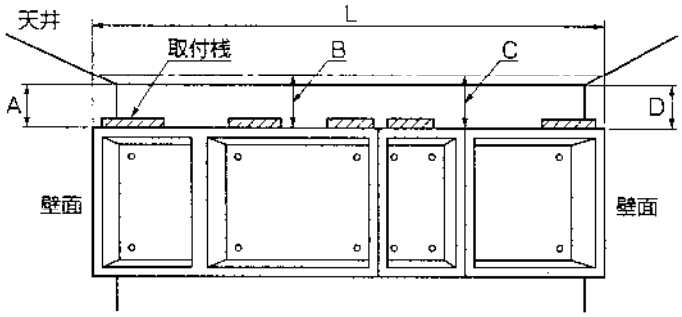


〔奥行方向（側面図）〕

②取付桟の取付位置はキャビネットの前面、側面より20mm奥に控えて取付ねじで取付桟側より取り付けます。

(2) 支輪の取付け

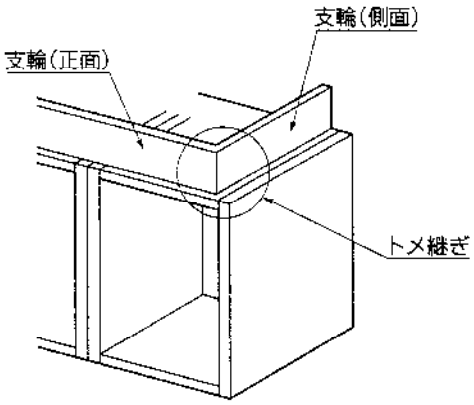
①支輪の取付け間口（L)、高さ（A~Dの数ヵ所）を測定します。



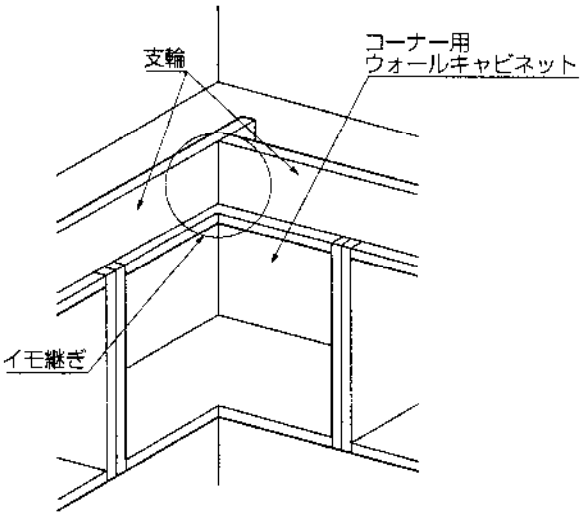
②測定した寸法に合せて、間口・高さに切断します。

※2枚以上の支輪で直線継ぎを行う場合は、キャビネットの継ぎ目、あるいは扉割りの位置に合せてください。

※支輪の出隅はトメ継ぎ、入隅はイモ継ぎで取り付けてください。

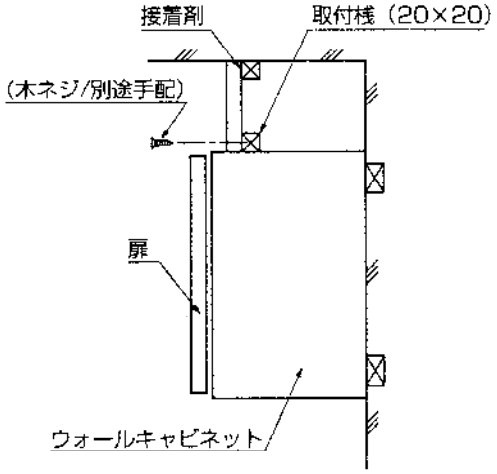


〔出隅部の仕上げ（トメ継ぎ)〕

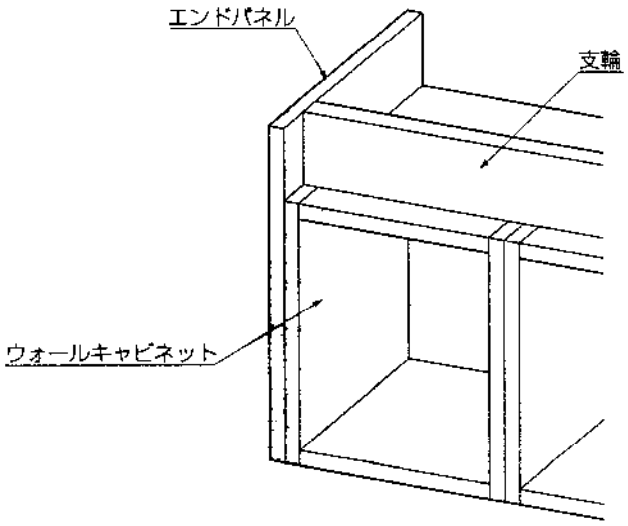


〔入隅部の仕上げ（イモ継ぎ)〕

③切断した支輪を接着剤または取付ねじで取り付けます。



④エンドパネルが隣接設置する場合（食器戸棚ユニット用、冷蔵庫用は除く）は下図のように取り付けます。



株式会社INAX

本　　社 ☎0569-35-2700　札幌支社 ☎011-271-1701　東北支社 ☎022-263-1710
東京支社 ☎03-5541-7111　西東京支社 ☎0425-27-3341　横浜支社 ☎045-242-1710
千葉支社 ☎043-227-8171　埼玉支社 ☎048-667-4848　東関東支社 ☎0286-37-3379
関越支社 ☎0273-27-1793　甲信支社 ☎0263-36-2166　名古屋支社 ☎052-201-1717
静岡支社 ☎054-251-1710　北陸支社 ☎0762-64-1710　大阪支社 ☎ 06-532-6081
京滋支社 ☎075-222-1794　広島支社 ☎082-223-1710　四国支社 ☎0878-21-1701
福岡支社 ☎092-282-3151　南九州支社 ☎096-322-1794

PKU-0006(96042)